

【全体目標 I】科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実 (1次予防、がん検診)

(1) がんの1次予防(発生リスクの低減) (1次予防)

[最終アウトカム1] がん罹患者が減っている

[中間アウトカム1] がんの発生リスクがあると科学的に実証されている生活習慣等が改善している

具体的施策	実施主体	重点施策	R2(2020)年度	R3(2021)年度	R4(2022)年度
施策1 生活習慣のさらなる改善	県	—	・健康長寿しまね推進計画に基づき、生活習慣改善に関する取組を実施(県) ・しまね健康寿命延伸プロジェクトにおいて、「運動の促進」及び「食生活の改善」を重点に健康づくりの取組を強化(県)	・健康長寿しまね推進計画に基づき、生活習慣改善に関する取組を実施(県) ・しまね健康寿命延伸プロジェクトにおいて、「全世代の減塩」「子育て世代・壮年期の野菜摂取」及び「壮年期の運動」を重点に健康づくりの取組を強化(県)	・健康長寿しまね推進計画に基づき、生活習慣改善に関する取組を実施(県) ・島根健康寿命延伸プロジェクトにおいて、「全世代の減塩」「子育て世代・壮年期の野菜摂取」及び「壮年期の運動」を重点に健康づくりの取組を強化(県)
施策2 喫煙・アルコール健康障がい対策のさらなる推進	県	—	・たばこ対策取組宣言団体や禁煙支援薬局登録拡大に向けた取組を実施した。 ・市町村と学校に受動喫煙防止対策状況調査を実施した。 ・各圏域でのアルコール関連問題啓発週間におけるチラシの配布等や広報誌等により適正飲酒の啓発に努めた。(県)	・たばこ対策取組宣言団体や禁煙支援薬局登録拡大に向けた取組を実施した。 ・市町村と学校に受動喫煙防止対策状況調査を実施した。 ・各圏域でのアルコール関連問題啓発週間におけるチラシの配布等や広報誌等により適正飲酒の啓発に努めた。(県)	・たばこ対策取組宣言団体や禁煙支援薬局登録拡大に向けた取組を実施した。 ・市町村と学校に受動喫煙防止対策状況調査を実施した。 ・各圏域でのアルコール関連問題啓発週間におけるチラシの配布等や広報誌等により適正飲酒の啓発に努めた。(県)
施策3 圏域では、罹患・死亡状況などから重点的に取り組むがん種を決定し、そのリスクとなる生活習慣の改善に取組む	県、市町村	重点施策	・圏域がん対策推進事業を実施 重点的に取り組むがん種 松江圏域：大腸がん、雲南圏域：大腸がん、出雲圏域：胃がん、肺がん 大田圏域：5大がん、浜田圏域：男性肺がん、女性乳がん、益田圏域：子宮頸がん、隠岐圏域：肺がん、大腸がん、乳がん(県・市町村)	・圏域がん対策推進事業を実施 重点的に取り組むがん種 松江圏域：大腸がん、雲南圏域：大腸がん、出雲圏域：胃がん、肺がん 大田圏域：5大がん、浜田圏域：男性肺がん、女性乳がん、益田圏域：子宮頸がん、隠岐圏域：肺がん、大腸がん、乳がん(県・市町村)	・圏域がん対策推進事業を実施 重点的に取り組むがん種 松江圏域：大腸がん、雲南圏域：大腸がん、出雲圏域：胃がん、肺がん 大田圏域：5大がん、浜田圏域：男性肺がん、女性乳がん、益田圏域：子宮頸がん、隠岐圏域：肺がん、大腸がん、乳がん(県・市町村)
施策4 事業所と連携した情報提供の実施	県	—	・優良事例について、ホームページや広報誌等へ掲載し周知した。 ・しまね☆まめなカンパニー登録事業所数：210事業所(県)	・優良事例について、ホームページや広報誌等へ掲載し周知した。 ・しまね☆まめなカンパニー登録事業所数：268事業所(県)	・優良事例について、ホームページや広報誌等へ掲載し周知した。 ・しまね☆まめなカンパニー登録事業所数：319事業所(県)

[中間アウトカム2] 感染症に起因したがんの発症を防ぐ取組を実施している

具体的施策	実施主体	重点施策	R2(2020)年度	R3(2021)年度	R4(2022)年度
施策5 B型肝炎ワクチンの定期接種及び肝炎ウイルス検査の受診促進	県	—	・日本肝炎デー(7/28)及び肝臓週間(7/22~7/28)がある7月を重点普及啓発月間として啓発を実施 ・肝炎の正しい知識や県による無料検査の実施、県ホームページ等への掲載によりPR ・市民公開講座(島根大学医学部附属病院主催、web開催) [期間]令和2年12月11日~令和3年1月11日(県)	・日本肝炎デー(7/28)及び肝臓週間(7/22~7/28)がある7月を重点普及啓発月間として啓発を実施 ・肝炎の正しい知識や県による無料検査の実施、県ホームページ等への掲載によりPR ・市民公開講座(島根大学医学部附属病院主催、web開催) [期間]令和3年12月17日~令和4年3月17日(県)	・実施主体である市町村と連携し、定期接種を推進 ・任意接種を希望される方のために、接種できる医療機関情報をホームページで公開 ・日本肝炎デー(7/28)及び肝臓週間(7/25~7/31)がある7月を重点普及啓発月間として啓発を実施 ・肝炎の正しい知識や県による無料検査の実施、県ホームページ等への掲載によりPR ・市民公開講座(島根大学医学部附属病院主催、web開催) [期間]令和4年7月25日~令和4年8月31日(県)
施策6 子宮頸がん予防ワクチン接種への適切な対応	県、拠点病院	—	・国は令和2年10月9日の通知により、ワクチン接種については依然として積極的な勧奨を差し控えている状況ではあるが、定期接種の対象者のうち希望者が定期接種を受けることができるよう、対象者等への周知等を行うとともに、接種機会の確保を図ることとした。 ・県内における予防接種後に生じた症状の診療については、島根大学医学部附属病院を協力医療機関に選定(県、拠点病院)	・令和3年11月26日厚労省通知により、HPVワクチンの積極的勧奨を再開することとされ、あわせて来年度から接種機会を逃した方へのキャッチアップ接種が開始されることとなった ・接種を希望する方が確実に接種できるよう市町村及び医療機関等へ周知するとともに、ワクチンの有効性と安全性に関する情報提供に努める ・県内における予防接種後に生じた症状の診療については、島根大学医学部附属病院を協力医療機関に選定(県、拠点病院) ・外来患者に対して自費によるワクチン接種経験あり ・R4年度から勧奨対象となる学生が平日外来時間内に来院可能であればワクチン接種は可能だが、原則、学生が受診来院し易い土曜日対応可能な開業医でお願いしたい(浜田医療センター)	・令和4年4月1日からHPVワクチンの積極的勧奨を再開 ・あわせて、令和4年4月1日から接種機会を逃した方へのキャッチアップ接種が開始 ・接種を希望する方が確実に接種できるよう市町村及び医療機関等へ周知するとともに、県ホームページ等によりワクチンの有効性と安全性に関する情報提供を実施 ・県内における予防接種後に生じた症状の診療については、島根大学医学部附属病院を協力医療機関に選定(県、拠点病院) ・公費接種について、松江市および出雲町との契約を行っている。 ・上記契約に基づいて、産婦人科外来で公費接種の実績がある。(松江市立病院) ・啓発資料を外来(婦人科・小児科等)へ設置するとともに、講演会、研修会等の機会に配布を行ないワクチン接種の周知を積極的に行なっている。(松江赤十字病院) ・定期接種、キャッチアップ接種希望に添えるように4価ワクチンを用意している。希望者には9価ワクチンの接種も対応しており、実施実績もある(浜田医療センター)
施策7 ヘリコバクター・ピロリ(ピロリ菌)への対策	県、拠点病院	—	・国の動向を注視した(県)	・R3年よりオプションとして血清ヘリコバクターピロリ菌抗体検査を導入 ・陽性者に対しては、除菌治療を受けることを勧奨した ・また、胃内視鏡検査やX線検査で萎縮性胃炎所見を認めた受診者に対しても、同様に勧奨した(浜田医療センター)	・陽性者、胃内視鏡検査やX線検査で萎縮性胃炎所見を認めた受診者に対して、除菌治療を勧奨した。(松江赤十字病院) ・ピロリ菌抗体検査の実施、陽性者への除菌治療(松江市立病院) ・R3年よりオプションとして血清ヘリコバクターピロリ菌抗体検査を導入。 ・陽性者に対しては、除菌治療を受けることを勧奨した。 ・また、胃内視鏡検査やX線検査で萎縮性胃炎所見を認めた受診者に対しても、同様に勧奨した。(浜田医療センター)
施策8 ヒトT細胞白血病ウイルス1型(HTLV-1)への対策	県、拠点病院	—	・平成22年度から、各保健所及び拠点病院等に窓口を設置し、県民からの相談に対応(県)	・平成22年度から、各保健所及び拠点病院等に窓口を設置し、県民からの相談に対応(県) ・HTLV-1感染者のフォローアップを血液内科外来で行っている(浜田医療センター)	・平成22年度から、各保健所及び拠点病院等に窓口を設置し、県民からの相談に対応(県) ・感染者のフォローアップを血液内科外来で行っている。(松江赤十字病院) ・専門の対応診療科がないため、他院へ紹介(松江市立病院) ・HTLV-1外来を開設している(島根大学医学部附属病院) ・HTLV-1感染者のフォローアップを血液・腫瘍内科の外来で行っている。(浜田医療センター)

(2) がんの2次予防(早期発見・早期受診) (がん検診)

[最終アウトカム2] がん罹患した場合でも早期発見・早期受診につながっている

【ア 精度管理の徹底】

[中間アウトカム3] 科学的根拠に基づくがん検診(対策型検診)を精度管理の下で実施

具体的施策	実施主体	重点施策	R2(2020)年度	R3(2021)年度	R4(2022)年度
施策9 県生活習慣病検診管理指導協議会における精度管理や事業評価の実施	県	—	<ul style="list-style-type: none"> 各種がん部会を実施 胃・大腸がん部会(8/7) 肺がん部会(1/25) 乳がん部会(3/24) 子宮がん部会(10/7) 子宮頸がん検診精度管理事業を実施(県) 	<ul style="list-style-type: none"> 子宮頸がん検診精度管理事業実施市町村と協議 ※コロナで中止…各種がん部会(県) 	<ul style="list-style-type: none"> 各種がん部会を実施 胃・大腸がん部会(5/12) 肺がん部会(3/10) 乳がん部会(2/3) 子宮がん部会(3/14) 子宮頸がん検診精度管理事業を実施(県)
施策10 がん検診従事者講習会やがん検診担当者会議の充実	県	—	<ul style="list-style-type: none"> 島根県環境保健公社に委託 大腸がん検診従事者講習会(2/14) 子宮頸がん検診従事者講習会(3/12) ※コロナで中止…担当者会議&研修会、乳がん検診精度管理向上講習会(県) 	<ul style="list-style-type: none"> 島根県環境保健公社に委託 担当者会議(7/14) 担当者研修会(7/14) ※コロナで中止…乳がん検診精度管理講習会、肺がん従事者講習会(県) 	<ul style="list-style-type: none"> 島根県環境保健公社に委託 担当者会議・担当者研修会(6/28) 肺がん検診従事者講習会(3/22) 乳がん検診従事者講習会(2/18)
施策11 指針に基づいたがん検診の実施および精度管理の向上	市町村	重点施策	<ul style="list-style-type: none"> 子宮頸がん検診従事者講習会(3/12)で、国際医療福祉大学三田病院予防医学センターから講師を招き、「子宮頸がん検診の精度管理とその課題-精検受診率を中心に、今何ができるか?」講演会を実施し、対策型検診のイメージ共有を行った(県・市町村・子宮頸がん検診従事者) 	<ul style="list-style-type: none"> がん検診担当者研修会(7/14)で、島根大学から講師を招き「Withコロナ時代の肺癌検診と治療の現状について」講演会実施(県・市町村・検診機関担当者) 	<ul style="list-style-type: none"> 乳がん検診従事者講習会(3/22)で、一般財団法人倉敷成人病センタープレストセンター長から講師を招き「知っておこう 厚労省の指針に載った『プレスト・アウェアネス』とは」講演会実施(県・市町村・乳がん検診従事者)
施策12 検診の質の向上	検診機関	—	<p>①各種がん検診の読影・判定について、技量の維持・向上を図るために設置した読影委員会研修会を医療機関、行政機関の医療従事者や担当者等に対して検診の技術・知識などを習得する機会として提供した。以下の研修会を実施した</p> <ul style="list-style-type: none"> 胃がん集団検診特別読影委員会研修会 肺がん・結核検診読影委員会研修会 <p>②職員の技術に係わる精度の保証を確認し、維持向上を図るために日本医師会、結核予防会、全国労働衛生団体連合会など第三者機関が実施する各種の精度管理調査に参加し、精度管理に努めた(環境保健公社)</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部精度管理への参加(日本医師会、日本臨床検査技師会、島根県臨床検査技師会主催) 学会・講習会へのWeb参加(ヘルスサイエンスセンター島根) 読影委員会開催(乳がん)※肺、胃がんはコロナウイルス感染防止のため判定医毎に個別に実施 学会への参加 研修会への参加 外部精度管理への参加 精度管理委員会の開催(JA島根厚生連) 	<ul style="list-style-type: none"> 担当放射線技師が各種のスキルアップや資格更新のための研究会や講習会にweb参加や現地参加した(マンモグラフィ、胃X線撮影、肺癌CT、X線テレビなど、9人の技師が参加)(浜田医療センター) <p>①各種がん検診の読影・判定について、技量の維持・向上を図るために設置した読影委員会研修会を医療機関、行政機関の医療従事者や担当者等に対して検診の技術・知識などを習得する機会として提供した</p> <ul style="list-style-type: none"> 胃がん集団検診特別読影委員会研修会 肺がん・結核検診読影委員会研修会 乳がんマンモグラフィ検診読影委員会研修会等 <p>②職員の技術に係わる精度の保証を確認し、維持向上を図るために日本医師会、結核予防会、全国労働衛生団体連合会など第三者機関が実施する各種の精度管理調査に参加し、精度管理に努めた(環境保健公社)</p> <ul style="list-style-type: none"> 読影委員会(胃がん、肺がん、乳がん検診)はコロナ感染対策のため、判定医を一室に集めて実施せず、各医師へ個別に説明を行った 外部精度管理への参加(日本医師会、日本臨床検査技師会、島根県臨床検査技師会主催) 精度管理委員会の開催 マンモグラフィ検診施設・画像認定の更新(日本乳がん検診精度管理中央機構)(JA島根厚生連) 学会・講習会(病理)へのWeb参加 外部精度管理への参加(日本医師会、日本臨床検査技師会、島根県臨床検査技師会主催)(ヘルスサイエンスセンター島根) 	<ul style="list-style-type: none"> 子宮頸がん検診について、精度管理のため、市内の検診実施機関(検体採取医療機関)と契約を締結し、病理部での一括処理(細胞診の液化化検体標本作製・スクリーニング・最終判定、HPV検査)を実施している。 陽性検体のみならず、陰性検体に対しても細胞診専門医による検鏡・最終判定を実施している。(松江市立病院) 検診精度向上と診断技術、技量の維持向上のため各種スキルアップをWebや研修会を通じて行った。延べ38名。(マンモグラフィ、脳ドック、PET-CT、胃検診、肺がんCT) マンモグラフィでは認定資格の新規取得者1名、更新1名。機器の精度管理や画質の評価を第三者機関を受診し、マンモグラフィ検診施設画像認定を取得した。 胃検診技術向上と知識取得のため環境保健公社の協力を得、検診車にて見学を行った。(浜田医療センター) <p>①各種がん検診の読影・判定について、技量の維持・向上を図るために設置した読影委員会研修会を医療機関、行政機関の医療従事者や担当者等に対して検診の技術・知識などを習得する機会として提供した</p> <ul style="list-style-type: none"> 胃がん集団検診特別読影委員会研修会 肺がん・結核検診読影委員会研修会 乳がんマンモグラフィ検診読影委員会研修会等 <p>②職員の技術に係わる精度の保証を確認し、維持向上を図るために日本医師会、結核予防会、全国労働衛生団体連合会など第三者機関が実施する各種の精度管理調査に参加し、精度管理に努めた(環境保健公社)</p> <ul style="list-style-type: none"> 画像読影員会(胃・肺・乳)対面実施による開催 外部精度管理への参加(日本臨床検査技師会、島根県臨床検査技師会) マンモグラフィ検診撮影技術認定の更新(NPO法人日本乳がん検診精度管理中央機構)(JA島根厚生連) 学会・講習会(病理・細胞診)へのWeb参加2名(日本臨床細胞学会春期大会1期6/15~6/19、2期6/21~7/10、秋期大会1期11/10~11/15、2期11/17~12/12) 外部精度管理への参加(日本医師会、日本臨床衛生検査技師会、島根県臨床検査技師会主催) マンモグラフィ健診施設・画像認定(日本乳がん検診精度管理中央機構) 乳がん検診従事者講習会web参加2/18(県健康福祉部・島根県環境保健公社) 日本臨床細胞学会認定施設(日本臨床細胞学会)(ヘルスサイエンスセンター島根)
施策13 効果的ながん検診を実施するためのデータ収集・分析の実施	県	—	<ul style="list-style-type: none"> がん検診の事業評価や効果的な事業の企画立案のために必要な各データの集計・分析・提供を実施(県) 	<ul style="list-style-type: none"> がん検診の事業評価や効果的な事業の企画立案のために必要な各データの集計・分析・提供を実施(県) 	<ul style="list-style-type: none"> がん検診の事業評価や効果的な事業の企画立案のために必要な各データの集計・分析・提供を実施(県)
施策14 圏域では、罹患・死亡状況などから重点的に取り組むがん種を決定し、それに対応したがん検診の精度管理を実施	県、市町村	重点施策	<ul style="list-style-type: none"> 圏域がん対策推進事業を実施(県・市町村) 	<ul style="list-style-type: none"> 圏域がん対策推進事業を実施(県・市町村) 	<ul style="list-style-type: none"> 圏域がん対策推進事業を実施(県・市町村)

がん検診

【イ 働き盛り世代への受診率向上対策】

[中間アウトカム4] 働き盛り世代の検診受診率が向上している

具体的施策	実施主体	重点施策	R2(2020)年度	R3(2021)年度	R4(2022)年度
施策15 検診の実態を把握し、その結果から効果的な検診体制の整備を実施	県	—			・検診受診率が低い大腸がんについて、成果連動型民間委託契約方式を採用し、民間事業者のノウハウを活用した受診勧奨策を実施し、すべてのモデル市町において、受診率が10%以上向上 ・出雲市をモデル市町村として、対策型胃内視鏡検診の導入支援を実施し、出雲市において令和4年10月より内視鏡検診を開始(県、市町村)
施策16 働き盛り世代に対し、かかりつけ医からの受診勧奨を実施	県	重点施策			
施策17 がん検診と特定健診の同時受診の促進を図る	市町村、協会けんぽ	—	・特定健診にがん検診をセットした「生活習慣病予防健診」の実施(被保険者:35歳以上) ・協会けんぽが主催する集団健診に、市町村のがん検診をセットして実施(調整のうえ実施可能だった市町村のみ実施)(被扶養者) ・協会けんぽ島根支部において、特定健診の案内パンフレット内にごがん検診の受診啓発と市町村の担当窓口を記載(被扶養者) ・特定健診とがん検診が同時に受診できる「家族のためのがん検診バック」を県内28健診機関で実施(被扶養者)<全国健康保険協会島根支部(協会けんぽ)>	・特定健診にがん検診をセットした「生活習慣病予防健診」の実施(被保険者:35歳以上) ・協会けんぽ島根支部において、特定健診の案内パンフレット内にごがん検診の受診啓発と市町村の担当窓口を記載(被扶養者) ・特定健診とがん検診が同時に受診できる「家族のためのがん検診バック」を県内26健診機関で実施(被扶養者)<全国健康保険協会島根支部(協会けんぽ)>	・特定健診にがん検診をセットした「生活習慣病予防健診」の実施(被保険者:35歳以上) ・協会けんぽ島根支部において、特定健診の案内パンフレット内にごがん検診の受診啓発と市町村の担当窓口を記載(被扶養者) ・特定健診とがん検診が同時に受診できる「家族のためのがん検診バック」を県内27健診機関で実施(被扶養者)<全国健康保険協会島根支部(協会けんぽ)>
施策18 (再掲:施策4)事業所と連携した情報提供の実施	県	—	(再掲:施策4)	(再掲:施策4)	(再掲:施策4)
施策19 SNSを利用した若い世代に向けた子宮頸がん検診受診率向上対策	県	—	・YouTubeやLINEによる啓発動画の配信を検討<県>	—	・スサノオマジック選手の出演による、がん検診啓発動画をYouTubeで配信<県>
施策20 圏域では、罹患・死亡状況などから重点的に取り組むがん種を決定し、それに対応したがん検診の受診率向上対策を実施	県、市町村	重点施策	・圏域がん対策推進事業を実施<県・市町村>	・圏域がん対策推進事業を実施<県・市町村>	・圏域がん対策推進事業を実施<県・市町村>

がん検診

【全体目標Ⅱ】患者本位で将来にわたって持続可能なしまねらしいがん医療の実現（がん医療、緩和ケア）

(1) どこにいても安心しがん医療が受けられる体制の構築（がん医療）

【最終アウトカム3】県内どこに住んでいても安心してがん医療が受けられている

【中間アウトカム5】拠点病院体制を維持し、患者が適切ながん医療を受けられている

具体的施策	実施主体	重点施策	R2(2020)年度	R3(2021)年度	R4(2022)年度
施策21 拠点病院体制の維持及び質の向上に必要な施策の実施	県	重点施策	<ul style="list-style-type: none"> がん診療連携拠点病院機能強化補助金の交付 対象病院：松江市立病院、松江赤十字病院、県立中央病院 補助率等：国1/2、県1/2 補助額：31,500千円（3病院）〈県〉 	<ul style="list-style-type: none"> がん診療連携拠点病院機能強化補助金の交付 対象病院：松江市立病院、松江赤十字病院、県立中央病院 補助率等：国1/2、県1/2 補助額：30,853千円（3病院）〈県〉 	<ul style="list-style-type: none"> がん診療連携拠点病院機能強化補助金の交付 対象病院：松江市立病院、松江赤十字病院、県立中央病院 補助率等：国1/2、県1/2 補助額：29,196千円（3病院）〈県〉
施策22 拠点病院における連携体制の強化及び医療提供体制の質の向上（都道府県拠点病院）	島根大学医学部附属病院	重点施策	<ul style="list-style-type: none"> 島根県がん診療ネットワーク協議会及び各支部の開催 がん相談員実務担当者会（7/3, 3/8） がん登録部会（12/9） がん診療部会（1/25） 島根県がん診療ネットワーク協議会（3/19） 県内医療機関に所属する職員等を対象に医療従事者研修会の開催 がん医療従事者研修会（7/31, 9/4, 11/13, 1/26, 3/4） 〈島根大学医学部附属病院〉 	<ul style="list-style-type: none"> 島根県がん診療ネットワーク協議会及び各支部の開催 がん相談員実務担当者会（6/23, 2/9） がん登録部会（1/13） がん診療部会（1/20） 島根県がん診療ネットワーク協議会（3/17） 県内医療機関に所属する職員等を対象に医療従事者研修会の開催 がん医療従事者研修会（8/23, 10/26, 11/29, 12/24, 2/3） 〈島根大学医学部附属病院〉 	<ul style="list-style-type: none"> 島根県がん診療ネットワーク協議会及び各支部の開催 島根県がん診療ネットワーク協議会（3/8） がん診療部会（2/2） がん生殖医療ネットワーク会議（5/16, 9/15, 1/20） 緩和ケア研修委員会（5/31） がん登録部会（1/27） がん相談員実務担当者会（6/27, 1/12） 県内医療機関に所属する職員等を対象に医療従事者研修会の開催 がん医療従事者研修会（11/4, 11/22, 12/20） 〈島根大学医学部附属病院〉
施策23 拠点病院における連携体制の強化及び医療提供体制の質の向上（地域拠点病院）	松江市立病院、松江赤十字病院、県立中央病院、浜田医療センター	重点施策	<ul style="list-style-type: none"> 緩和ケア多職種カンファレンスコア委員会を開催し、地域との連携推進のために院内・外の医療・介護等の関係者（ケアマネージャー協会、在宅医療・在宅介護連携支援センター（社協））間で事例検討・情報共有・意見交換を行っている がん診療連携拠点病院医療従事者研修会（R3.2/25開催） 在宅緩和ケア多職種カンファレンス研修会（12/3開催） スムーズな地域連携に向けた「診療のご案内」の作成・配布 地域連携バスの活用（がんバス、緩和ケアバス） 松江保健所主催の松江圏域緩和ケア事例検討会への参加・協力（松江市立病院） 緩和ケア地域連携検討会（研修会）を開催し、地域と連携して患者が希望する場所で生活ができる支援・連携について意見交換を行っている。隠岐圏域の他職種とまめネットでのオンライン開催を行った（10/30） 化学療法研究会（1/15）の開催（現地開催とWeb配信のハイブリッド開催） がんゲノム医療カンファレンスの開催（7/31, 12/10） がんゲノム医療に関する研修会の開催 五大がんクリティカルパス、緩和ケア地域連携バスの活用 がんバス（新規適用件数：54件） 緩和ケアバス（新規適用件数：43件） 地域の診療所を訪問し、がん患者の在宅療養の課題等を共有 新規開業した診療所に訪問 がんバスに関する勉強会の開催（12/4）及び、がんバスを用いる協力機関の訪問 病院と地域医療機関が連携し、治療可能な癌がんの発見、治療成績向上を目指す、癌がんプロジェクトへの協力 まめネットWeb会議サービスを活用した、転院及び自宅退院患者のカンファレンスの開催（隠岐圏域、安来圏域、及び市内の訪問看護ステーション）〈松江赤十字病院〉 がんバスを用いて、患者の便宜を図った〈県立中央病院〉 	<ul style="list-style-type: none"> 緩和ケア多職種カンファレンスコア委員会を開催し、地域との連携推進のために院内・外の医療・介護等の関係者（ケアマネージャー協会、在宅医療・在宅介護連携支援センター（社協））間で事例検討・情報共有・意見交換を行っている （松江市立病院主催の研修会（がん診療連携拠点病院医療従事者研修会）は、コロナ感染拡大時期と重なり次年度へ延期となった）〈松江市立病院〉 緩和ケア地域連携検討会（研修会）「PCAポンプを用いて症状とQOLの改善を図ろう」を開催し、地域と連携して患者が希望する場所で生活ができる支援・連携について意見交換を行っている（8/26） がんのリハビリテーション研修に医療チームが参加（Dr1 N s 1 P T 2 S T 2）（11/6） 松江市薬剤師会と共催の勉強会「化学療法レジメンを理解するために知っておきたいこと」の開催（11/18） 放射線治療セミナー「放射線看護 松江圏域のがん看護と地域医療の発展のために」の開催（11/19） がんゲノム医療カンファレンス「リキットバイオプシーを活用したがんゲノム医療の現在と未来」を松江市立病院と共同で開催（11/30） 緩和ケアシンポジウム「転移性骨腫瘍の治療・ケア」の開催（12/3） がんバスに関する勉強会の開催（12/6） 化学療法研究会「化学療法を受ける患者の意思決定支援～患者の満足度を上げるには～」の開催（1/14） がんゲノム診療委員会講演会「なぜ21世紀はゲノムの世紀なのか？」の開催（3/25） 五大がん地域連携クリティカルパス、緩和ケア地域連携バスの活用（新規適用件数：88件） バスの普及、連携体制の強化、がん患者の在宅療養の課題の共有を目的として、地域の診療所や、がんバスを用いる協力機関への訪問を行っている（9件） 病院と地域医療機関が連携し、治療可能な癌がんの発見、治療成績向上を目指す、癌がんプロジェクトへの協力 まめネットWeb会議サービスを活用した、転院及び自宅退院患者のカンファレンスの開催 延べ61回（隠岐圏域、安来圏域、及び市内の訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所）〈松江赤十字病院〉 がんバスを用いて、患者の便宜を図った〈県立中央病院〉 	<ul style="list-style-type: none"> 緩和ケア多職種カンファレンスコア委員会を開催し、地域との連携推進のために院内・外の医療・介護等の関係者（ケアマネージャー協会、在宅医療・在宅介護連携支援センター（社協））間で事例検討・情報共有・意見交換を行っている （松江市立病院主催の研修会（がん診療連携拠点病院医療従事者研修会）は、コロナ感染拡大時期と重なり次年度へ延期となった）〈松江市立病院〉 放射線治療セミナー「がんと闘う！！～高精度放射線治療の有用性～」の開催（2/13） がんゲノム医療カンファレンス「消化器がんに対するゲノム医療～遺伝子パネル検査でなにができるか？～」を松江市立病院と共同で開催（11/8） がんバスに関する勉強会の開催（12/1） 化学療法研究会「患者の化学療法中味覚変と栄養管理について」の開催（1/13） がんのリハビリテーション研修に医療チームが参加（3/4, 3/5） 松江市薬剤師会と共催の勉強会「症例から学ぶ化学療法の副作用対策」の開催（11/17） 五大がん地域連携クリティカルパス、緩和ケア地域連携バスの活用（新規適用件数：92件） バスの普及、連携体制の強化、がん患者の在宅療養の課題の共有を目的として、地域の診療所や、がんバスを用いる協力機関への訪問を行っている（11件） 病院と地域医療機関が連携し、治療可能な癌がんの発見、治療成績向上を目指す、癌がんプロジェクトへの協力 開業医・訪問看護・ケアマネージャー等と病院スタッフの定例web交流会の開催を通して、課題の共有と連携の強化を図っている。（1/月） まめネットWeb会議サービスを活用した、転院及び自宅退院患者のカンファレンスの開催 延べ61回（隠岐圏域、安来圏域、及び市内の訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所）〈松江赤十字病院〉 がん診療連携バスの活用に取り組み取り組んだ 医療従事者を対象とした緩和ケア講演会「苦悩の中にあるがん患者さん、家族との対話」を開催した（11/8） 自宅退院時のカンファレンスの開催及び外来がん患者の地域連携カンファレンスを開催した。カンファレンスに来院が困難な外来患者はまめネットを活用した自宅でのカンファレンスを行い、地域との情報共有・連携を図った〈県立中央病院〉 がん多職種連携カンファレンスの開催手順を明確にして、それに則った開催を開始した。〈浜田医療センター〉
施策24 【新規】 がんゲノム医療体制の整備	県、島根大学医学部附属病院、松江市立病院、松江赤十字病院、県立中央病院	重点施策	<ul style="list-style-type: none"> がんゲノム医療に関する講演を実施〈島根大学医学部附属病院、松江市立病院〉 2020年4月がん遺伝子パネル検査を開始〈松江市立病院〉 ゲノム診療科を創設。がんゲノム医療連携病院としての体制を整備した。 遺伝子パネル検査を導入し、先進医療、治験による治療に取り組んでいる。 がんゲノム医療カンファレンスの開催（7/31, 12/10） がんゲノム医療に関する研修会の開催 がん遺伝子パネル検査についてのパンフレットを作成 遺伝性乳がん・卵巣がん当事者会の協力を得て、遺伝性がんの当事者を対象にした講演会をオンラインで開催し、双方での意見交換を行った。 遺伝性乳がん・卵巣がん当事者会の協力を得て、当事者が家族らにあてた手紙を紹介する写真パネル展を実施し、当事者のかたへの支援や社会への啓発活動を行った。〈松江赤十字病院〉 	<ul style="list-style-type: none"> 遺伝子パネル検査の実施、先進医療に取り組んでいる 遺伝性腫瘍パネル検査の開始 ゲノム診療リクナース育成研修会の開催（院内3回） 中央西日本遺伝性腫瘍コホート研究の研究会にて院内外へ当該のゲノム診療を広報〈松江市立病院〉 R02年1月、がんゲノム医療連携病院として指定され、ゲノム診療科を創設。遺伝子パネル検査を導入し、先進医療、治験による治療に取り組んでいる がんゲノム医療カンファレンス「リキットバイオプシーを活用したがんゲノム医療の現在と未来」を松江市立病院と共同で開催した（11/30）（再掲指標23） がんゲノム診療委員会講演会「なぜ21世紀はゲノムの世紀なのか？」の開催（3/25）（再掲指標23）〈松江赤十字病院〉 がんゲノム医療に関する講演・研修会（人材育成を含む）を実施 がんゲノム医療センターのホームページを整備 臨床遺伝診療部と連携し、遺伝性疾患に対するカウンセリングを行っている。 がんゲノムプロファイリング検査結果を元に、保険適応外薬による治療導入にも取り組んでいる。〈島根大学医学部附属病院〉 	<ul style="list-style-type: none"> がんゲノム医療に関する講演・研修会（人材育成を含む）を実施 R5.2.10 慶應義塾大学より講師の先生をお招きし、「がんゲノム医療の現状と今後の展望」についてハイブリッドで講演会を開催。 がんゲノム医療センターのホームページを整備 臨床遺伝診療部と連携し、遺伝性疾患に対するカウンセリングを行っている。 がんゲノムプロファイリング検査結果を元に、保険適応外薬による治療導入にも取り組んでいる。〈島根大学医学部附属病院〉 がん遺伝子パネル検査を実施し、先進医療・治験による治療に取り組んでいる。 がんゲノム医療体制構築の一環として看護師を対象に研修会実施 ホームページを整備しがんゲノム医療の院外紹介受入れを開始 がんゲノム医療対象者抽出会議を開始 がんゲノム医療カンファレンス「消化器がんに対するゲノム医療」を松江赤十字病院と共同で開催した（11/8）（松江市立病院） がんゲノム医療カンファレンス「消化器がんに対するゲノム医療～遺伝子パネル検査でなにができるか？～」を松江市立病院と共同で開催（11/8）〈松江赤十字病院〉

[中間アウトカム6] 拠点病院と地域の病院等の機能分担による連携強化が図られている

具体的施策	実施主体	重点施策	R2(2020)年度	R3(2021)年度	R4(2022)年度
施策25 益田赤十字病院の地域がん診療病院指定に向けた支援の実施	県	重点施策			
施策26 (再掲: 施策22) 拠点病院における連携体制の強化及び医療提供体制の質の向上(都道府県拠点病院)	島根大学医学部附属病院	重点施策	(再掲: 施策22)	(再掲: 施策22)	(再掲: 施策22)
施策27 (再掲: 施策23) 拠点病院における連携体制の強化及び医療提供体制の質の向上(地域拠点病院)	松江市立病院、松江赤十字病院、県立中央病院、浜田医療センター	重点施策	(再掲: 施策23)	(再掲: 施策23)	(再掲: 施策23)
施策28 病院間や病院と診療所・介護施設等の連携強化(拠点病院から地域の病院へ患者が紹介される取り組みへの支援)	県、島根大学医学部附属病院	重点施策	<p>がん診療ネットワーク協議会ががん診療部会を開催した。(1/25)</p> <p>地域連携バスを活用し、患者が望む地域の医療機関への紹介を行なった。外来通院患者からの在宅療養の相談に対し、地域の在宅診療所等の紹介、連携を行った(島根大学医学部附属病院)</p>	<p>がん診療ネットワーク協議会ががん診療部会を開催した(1/20)</p> <p>地域連携バスを活用し、患者が望む地域の医療機関への紹介を行なった</p> <p>外来通院患者からの在宅療養の相談に対し、地域の在宅診療所等の紹介、連携を行った(島根大学医学部附属病院)</p>	<p>がん診療ネットワーク協議会ががん診療部会を開催した(2/2)</p> <p>地域連携バスを活用し、患者が望む地域の医療機関への紹介を行なった</p> <p>外来通院患者からの在宅療養の相談に対し、地域の在宅診療所等の紹介、連携を行った(島根大学医学部附属病院)</p>
施策29 病院間や病院と診療所・介護施設等の連携強化(地域の病院におけるがんチーム医療の向上)	県、拠点病院	重点施策	<p>がんチーム医療づくり推進事業委託 対象病院: 雲南市立、飯南、公立邑智、隠岐(4病院) 委託金額: 42千円余 ※公立邑智、隠岐は新型コロナによる中止等で実績なし(県)</p> <p>松江保健所主催の松江圏域緩和ケア事例検討会への参加・協力</p> <p>緩和ケア研修会(がんに関わる医療従事者のための研修会)(10/24開催)</p> <p>がん診療連携拠点病院医療従事者研修会(R3.2/25開催)</p> <p>在宅緩和ケア多職種カンファレンス研修会(12/3開催)</p> <p>ELNEC研修会(11/7・11/8開催)(松江市立病院)</p> <p>緩和ケア地域連携検討会(10/30)にて、隠岐圏域の病院と、在宅での看取りにおける介護、医療における役割分担について検討を行った。</p> <p>緩和ケア研修会(がんに関わる医療従事者のための研修会)(2/20)</p> <p>まめネットWeb会議サービスを活用して転院及び自宅退院患者のカンファレンスを開催し、双方の医療機関のがんチームのレベルアップをはかった。(隠岐圏域、安来圏域、及び市内の訪問看護ステーション)</p> <p>島根県がん診療ネットワーク会議(2/5)への参加</p> <p>松江市乳がん検討検討会(2/7)への参加</p> <p>島根県生活習慣病検査管理指導協議会乳がん部会(3/24)への参加(松江赤十字病院)</p> <p>地域のがんチーム医療のレベルアップを目的とした研修を実施するため、国立がん研究センターで開催される指導者養成研修に職員を参加させ、指導者としてのレベルアップを図った(島根大学医学部附属病院)</p>	<p>がんチーム医療づくり推進事業委託 対象病院: 雲南市立、飯南、公立邑智、隠岐(4病院) 委託金額: 166千円余 ※雲南市立、飯南は新型コロナによる中止等で実績なし(県)</p> <p>松江保健所主催の松江圏域緩和ケア事例検討会への参加・協力</p> <p>緩和ケア研修会(がんに関わる医療従事者のための研修会)(R3.10/16開催)</p> <p>在宅緩和ケア多職種カンファレンス研修会コア委員会(R3.6/17、R4.1/27開催)</p> <p>ELNEC研修会(11/20・11/21開催)</p> <p>がん診療連携拠点病院医療従事者研修会は新型コロナ感染拡大時期と重なり次年度へ延期(松江市立病院)</p> <p>緩和ケア地域連携検討会「PCAポンプを用いて症状とQOLの改善を図ろう」(8/26)にて、在宅診療所や訪問看護ステーションと、在宅での看取りにおける介護、医療における役割分担について検討を行った</p> <p>まめネットWeb会議サービスを活用して転院及び自宅退院患者のカンファレンスを開催し、双方の医療機関のがんチームのレベルアップをはかった(隠岐、安来、松江圏域の医療機関、訪問看護ステーション)</p> <p>緩和ケア研修会の開催(9/17)</p> <p>松江市薬剤師会と共催の勉強会「症例から学ぶ化学療法」の副作用対策」の開催(11/17)(再掲指標23)</p> <p>緩和ケア研修会の開催を2/26に予定していたが、オミクロン株の急速な感染拡大により、やむを得ず今年度の開催を中止とした(松江赤十字病院)</p> <p>地域のがんチーム医療のレベルアップを目的とした研修を実施するため、国立がん研究センターで開催される指導者養成研修に職員を参加させ、指導者としてのレベルアップを図った</p> <p>地域緩和ケア連携調整員研修 令和3年度アドバンスコース</p> <p>県内医療機関に所属する職員等を対象に研修会の開催 緩和ケアチーム研修会(11/6)27名参加(島根大学医学部附属病院)</p> <p>当院を会場として、浜田・益田圏域の医療従事者を対象にPEACEプロジェクトによる緩和研修を開催した。その際、緩和ケア認定看護師2名をはじめとするスタッフが講師・ファシリテーターとして出席。がんに関わる医療従事者の向上に取り組んだ。(浜田医療センター)</p>	<p>がんチーム医療づくり推進事業委託 対象病院: 雲南市立、町立奥出雲、飯南、公立邑智、隠岐(5病院) 委託金額: 434千円余 ※雲南市立は新型コロナによる中止等で実績なし(県)</p> <p>松江保健所主催の松江圏域緩和ケア事例検討会への参加・協力</p> <p>緩和ケア研修会(がんに関わる医療従事者のための研修会WEB)(2022/11/10・2023/3/9開催)</p> <p>在宅緩和ケア多職種カンファレンス研修会コア委員会(6/23・11/17開催)</p> <p>ELNEC研修会(コロナ感染症のため次年度へ延期)</p> <p>がん診療連携拠点病院医療従事者研修会は新型コロナ感染拡大時期と重なり次年度へ延期(松江市立病院)</p> <p>まめネットWeb会議サービスを活用して転院及び自宅退院患者のカンファレンスを開催し、双方の医療機関のがんチームのレベルアップをはかった(隠岐、安来、松江圏域の医療機関、訪問看護ステーション)</p> <p>緩和ケア研修会の開催(9/17)</p> <p>松江市薬剤師会と共催の勉強会「症例から学ぶ化学療法」の副作用対策」の開催(11/17)(再掲指標23)</p> <p>島根県がん診療連携拠点病院 がん看護研修でELNIC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラムの開催(10/29、10/30)受講者18名</p> <p>島根大学緩和ケア研修会を開催した(9/3)受講者24名(医師・歯科医師 22名、それ以外の職種 2名)</p> <p>島根大学 がん医療従事者研修会で岩手医科大学と「地域で実践するACP」について開催(12/20)(島根大学医学部附属病院)</p> <p>当院を会場として、浜田・益田圏域の医療従事者を対象にPEACEプロジェクトによる緩和研修を開催した。その際、当院緩和ケアチームスタッフ、がん相談支援センタースタッフ、MSWなどが講師・ファシリテーターとして参加した。(浜田医療センター)</p>
施策30 病院間や病院と診療所・介護施設等の連携強化(診療所や介護施設等の連携体制を強化する事業の実施・検討)	県、拠点病院	重点施策	<p>地域連携係が担当となり、セカンドオピニオン・紹介患者の受診調整及び支援している</p> <p>ゲノム診療部を創設し体制整備、R2年1月がんゲノム医療連携病院に指定(松江市立病院)</p> <p>ゲノム診療科を創設。がんゲノム医療連携病院としての体制を整備した。</p> <p>遺伝子パネル検査を導入し、先進医療、治験による治療に取り組んでいる</p> <p>月に1~2回、岡山大学病院のWebカンファレンスに出席</p> <p>妊孕性温存を希望する患者について、対応可能な医療機関へ紹介して支援している</p> <p>適応外薬や未承認薬の使用を検討する審査委員会を設置し、臨床研究の実施内容をHPで情報公開している(松江赤十字病院)</p> <p>出雲圏域では「しまね治験ネット」を活用し、県立中央病院と連携しており、さらなる治験の効率化と迅速化を図っている</p> <p>また、地域の医療機関へ向けて本院が行なっている先進的な医療について広報誌を送付し、周知を図った(島根大学医学部附属病院)</p>	<p>地域連携係が担当となり、セカンドオピニオン・紹介患者の受診調整及び支援している</p> <p>遺伝子パネル検査の実施、先進医療に取り組んでいる(松江市立病院)</p> <p>R02年1月、がんゲノム医療連携病院として指定され、ゲノム診療科を創設。遺伝子パネル検査を導入し、先進医療、治験による治療に取り組んでいる(再掲指標24)</p> <p>島根県・がん生殖医療ネットワークに参加・協力し、妊孕性温存を希望する患者を対応可能な医療機関へ紹介して支援している(松江赤十字病院)</p> <p>院内外から講師を招いて緩和ケア地域連携カンファレンスを開催し、県内から多くの医療従事者の参加を得て、情報共有・意見交換を行った。</p> <p>緩和ケア地域連携カンファレンス(9回開催)</p> <p>県内医療機関に所属する職員等を対象に医療従事者研修会の開催 がん医療従事者研修会(8/23、10/26、11/29、12/24、2/3)</p> <p>島根県がん診療連携拠点病院がん看護研修(緩和ケア)の実施</p> <p>「ELNEC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラム」(1/8~9)受講者24名 「がん薬物療法看護研修」(1/22)受講者46名(島根大学医学部附属病院)</p> <p>島根県生殖医療ネットワークへの参加と院内関係職員に周知した</p> <p>地域医療従事者研修会としてがん患者支援についてZoom研修会を開催した(浜田医療センター)</p>	<p>院内外から講師を招いて緩和ケア地域連携カンファレンスを開催し、県内から多くの医療従事者の参加を得て、情報共有・意見交換を行った。</p> <p>緩和ケア地域連携カンファレンス(9回開催)</p> <p>県内医療機関に所属する職員等を対象に医療従事者研修会の開催 がん医療従事者研修会(11/4、11/22、12/20)</p> <p>島根県がん診療連携拠点病院がん看護研修(緩和ケア)の実施</p> <p>「ELNEC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラム」(10/29、30)受講者18名(島根大学医学部附属病院)</p> <p>地域連携係が担当となり、セカンドオピニオン・紹介患者の受診調整及び支援している</p> <p>がんゲノム医療に関するホームページを立上げ、病院間・病診連携体制を整えた</p> <p>がん遺伝子パネル検査の推進、院外への先進医療や治験参加に取り組んでいる(松江市立病院)</p> <p>島根県・がん生殖医療ネットワークに参加・協力し、妊孕性温存を希望する患者を対応可能な医療機関へ紹介して支援している(松江赤十字病院)</p> <p>地域医療従事者研修会として、①緩和ケア病棟ってどんなところ ~こんな退院支援しています~(2022/11/17)開催。②外来化学療法治療 化学療法ってこんな感じ 化学療法しなごらの生活について(2023/2/16)を開催。(浜田医療センター)</p>

[中間アウトカム7] 高度な医療等へのアクセスが可能になっている

具体的施策	実施主体	重点施策	R2(2020)年度	R3(2021)年度	R4(2022)年度
<p>施策31 高度な医療や県外での治療等へのアクセスが可能となる事業の検討</p>	<p>県、拠点病院</p>	<p>一</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域連携係が担当となり、セカンドオピニオン・紹介患者の受診調整及び支援している ・ゲノム診療部を創設し体制整備、R2年1月がんゲノム医療連携病院に指定〈松江市立病院〉 ・ゲノム診療科を創設。がんゲノム医療連携病院としての体制を整備した ・遺伝子パネル検査を導入し、先進医療、治験による治療に取り組んでいる ・月に1~2回、岡山大学病院のWebカンファレンスに出席 ・妊孕性温存を希望する患者について、対応可能な医療機関へ紹介して支援している ・適応外薬や未承認薬の使用を検討する審査委員会を設置し、臨床研究の実施内容をHPで情報公開している〈松江赤十字病院〉 ・出雲圏域では「しまね治験ネット」を活用し、県立中央病院と連携しており、さらなる治験の効率化と迅速化を図っている ・また、地域の医療機関へ向けて本院が行っている先進的な医療について広報誌を送付し、周知を図った〈島根大学医学部附属病院〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域連携係が担当となり、セカンドオピニオン・紹介患者の受診調整及び支援している ・遺伝子パネル検査の実施、先進医療に取り組んでいる〈松江市立病院〉 ・R02年1月、がんゲノム医療連携病院として指定され、ゲノム診療科を創設。遺伝子パネル検査を導入し、先進医療、治験による治療に取り組んでいる〈再掲指標24〉 ・島根県・がん生殖医療ネットワークに参加・協力し、妊孕性温存を希望する患者を対応可能な医療機関へ紹介して支援している〈再掲指標30〉 ・治験や臨床研究を検討する審査委員会を設置し、臨床研究の実施内容をHPで情報公開している ・セカンドオピニオンについて掲示・医師からの提案を行ない、希望する患者の受診調整及び支援を行なっている〈松江赤十字病院〉 ・出雲圏域では「しまね治験ネット」を活用し、県立中央病院と連携しており、さらなる治験の効率化と迅速化を図っている ・地域の医療機関へ向けて本院が行っている先進的な医療について広報誌を送付し、周知を図った ・適応外薬や未承認薬の使用を検討する審査委員会を設置して審査し、高度な医療提供を可能としている ・臨床研究の実施内容をHPで情報公開している〈島根大学医学部附属病院〉 ・島根県生殖医療ネットワークへの参加と院内関係職員に周知した〈浜田医療センター〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域連携係が担当となり、セカンドオピニオン・紹介患者の受診調整及び支援している ・がんゲノム医療中核拠点病院である岡山大学病院と連携し県外での治験や先進医療に参加している ・その他遺伝子関連検査において適応となった治験等に対し、県外の大学病院へ紹介している〈松江市立病院〉 ・島根県・がん生殖医療ネットワークに参加・協力し、妊孕性温存を希望する患者を対応可能な医療機関へ紹介して支援している〈再掲指標30〉 ・治験や臨床研究を検討する審査委員会を設置し、臨床研究の実施内容をHPで情報公開している ・セカンドオピニオンについて掲示・医師からの提案を行ない、希望する患者の受診調整及び支援を行なっている〈松江赤十字病院〉 ・出雲圏域では「しまね治験ネット」を活用し、県立中央病院と連携しており、さらなる治験の効率化と迅速化を図っている ・地域の医療機関へ向けて本院が行っている先進的な医療について広報誌を送付し、周知を図った ・適応外薬や未承認薬の使用を検討する審査委員会を設置して審査し、高度な医療提供を可能としている ・臨床研究の実施内容をHPで情報公開している〈島根大学医学部附属病院〉 ・島根県生殖医療ネットワークへの参加と院内関係職員への周知。〈浜田医療センター〉
<p>施策32 【新規】 (再掲：施策24) がんゲノム医療体制の構築</p>	<p>県、島根大学医学部附属病院、松江市立病院、松江赤十字病院、県立中央病院</p>	<p>重点施策</p>	<p>(再掲：施策24)</p>	<p>(再掲：施策24)</p>	<p>(再掲：施策24)</p>
<p>施策33 【新規】 【小児・AYA】生殖機能の温存等に関する施策の実施</p>	<p>県、拠点病院等</p>	<p>重点施策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・島根県がん・生殖医療ネットワークの構築に向けた準備〈県、拠点病院等〉 ・妊孕性温存療法に係る助成事業の実施要綱等の作成〈県〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・島根県がん・生殖医療ネットワークの構築に参加 ・妊孕性温存療法に係る周知を院内で行った〈松江市立病院〉 ・妊孕性温存を希望する患者について、島根県・がん生殖医療ネットワーク等を活用し、対応可能な医療機関へ紹介して支援している〈再掲指標30〉 ・妊孕性温存療法助成事業周知の取り組み(スタッフ向け：説明会の実施 患者向け：パンフレットの作成 大型モニターでの周知)〈松江赤十字病院〉 ・島根県がん診療ネットワーク協議会に島根県がん・生殖医療ネットワークを設置した ・地域がん診療連携拠点(推進)病院から、妊孕性温存施設へ紹介するシステムを構築し、運用を開始した ・がん診療ネットワーク協議会生殖医療ネットワーク会議を開催した(5/24、6/28、2/7)〈島根大学医学部附属病院〉 ・島根県生殖医療ネットワークへの参加と院内関係職員に周知した〈浜田医療センター〉 ・妊孕性温存療法研究促進事業(助成事業)を開始〈県〉 助成実績：2件、11千円 	<ul style="list-style-type: none"> ・AYA世代患者については、がん看護専門看護師が中心となり、対象者への面談をし、情報提供や心理的サポートを行っている ・妊孕性温存療法希望者の支援として、島根県・がん生殖医療ネットワークを活用し、対応可能な医療機関へ紹介している〈松江市立病院〉 ・妊孕性温存を希望する患者について、島根県・がん生殖医療ネットワーク等を活用し、対応可能な医療機関へ紹介して支援している〈再掲指標30〉 ・妊孕性温存療法助成事業周知の取り組み(スタッフ向け：説明会の実施 患者向け：パンフレットの作成 大型モニターでの周知)〈松江赤十字病院〉 ・がん診療ネットワーク協議会生殖医療ネットワーク会議を開催した(5/26、9/15、1/20)〈島根大学医学部附属病院〉 ・島根県生殖医療ネットワークへの参加と院内関係職員に周知。〈浜田医療センター〉 ・島根県生殖医療ネットワークに参加し、妊孕性温存について院内職員に周知した。〈益田赤十字病院〉 ・妊孕性温存療法研究促進事業(助成事業)を実施〈県〉 助成実績：9件、534千円(妊孕性温存療法) 4件、750千円(温存後生殖補助医療)

(2) 切れ目のない緩和ケアの提供 (緩和ケア)

[最終アウトカム4] 患者やその家族の痛みやつらさが緩和され、生活の質が向上している

[中間アウトカム8] がん診療に携わるすべての医療・介護従事者が患者とその家族の身体的・精神的・心理社会的痛みに対応できている

具体的施策	実施主体	重点施策	R2(2020)年度	R3(2021)年度	R4(2022)年度
<p>施策 34 患者とその家族に関わる医療・介護従事者のより一層の人材育成(緩和ケアに係る研修会)</p>	<p>県 拠点病院</p>	<p>—</p>	<ul style="list-style-type: none"> 緩和ケア研修会の開催(拠点病院主催計4回) 修了者数: 医師68名、医師以外20名(県・拠点病院) 緩和ケア研修会(がんに関わる医療従事者のための研修会)(10/24開催) 受講者28名(医師20名、医師以外8名)(松江市立病院) 緩和ケア研修会(がんに関わる医療従事者のための研修会)の開催(2/20) 緩和ケア地域連携検討会(研修会)(隠岐圏域とまめネットでのオンライン開催)の開催(10/30) 緩和ケア・がん看護研修会の開催(8月-11月)(松江赤十字病院) <p>緩和ケア研修会について、1/23に開催を予定していたが、年明けに再び新型コロナウイルスの感染拡大傾向がみられたため、やむを得ず今年度の開催を中止とした。(島根大学医学部附属病院)</p> <ul style="list-style-type: none"> 緩和ケア研修会の開催(10/11) 修了者20名(医師:17名、医師以外:3名) 研修緩和ケア「薬物療法」研修(9/10)(県立中央病院) 緩和ケア研修会の実施(11/15)(浜田医療センター) 	<ul style="list-style-type: none"> 緩和ケア研修会(がんに関わる医療従事者のための研修会)(R3.10/16開催) 受講者27名(医師17名、医師以外10名)(松江市立病院) 緩和ケア・がん看護コース研修の開催(6~11月) 緩和ケア地域連携検討会(研修会)「PCAポンプを用いて症状とQOLの改善を図ろう」の開催(8/26) ELNIC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラムの開催(10/30、10/31) 緩和ケアシンポジウム「転移性骨腫瘍の治療・ケア」の開催(12/3)(再掲指標23) 医療用麻薬の評価(自記式記録)についての勉強会の開催(12/7) 「非がん患者への緩和ケアを理解する」研修会(1/12) 緩和ケア研修会の開催を2/26に予定していたが、オミクロン株の急速な感染拡大により、やむを得ず今年度の開催を中止とした(再掲指標29) 院内登録看護師(緩和ケア)の育成(松江赤十字病院) 医学部附属病院緩和ケア研修会を開催した(7/31) 受講者32名(医師・歯科医師 27名、それ以外の職種 5名)(島根大学医学部附属病院) 緩和ケア研修会の開催(R4.2/5) 修了者18名(医師:15名、医師以外:3名)(県立中央病院) 当院を会場として、浜田・益田圏域の医療従事者を対象にPEACEプロジェクトによる緩和研修を開催した。その際、緩和ケア認定看護師2名をはじめとするスタッフが講師・ファシリテーターとして出席。がんに関わる医療従事者の向上に取り組んだ。 看護スタッフ2名をELNIC-Jに出席させ緩和ケアに関わる人材の育成を行った。 ELNIC-J研修においても緩和ケア認定看護師1名が講師として出席した。(浜田医療センター) 	<ul style="list-style-type: none"> 緩和ケア研修会(がんに関わる医療従事者のための研修会)(R4.11.8開催)(医師15名 他医療従事者14名 計 29名受講)(松江市立病院) 緩和ケア・がん看護コース研修の開催(6~11月) 緩和ケア研修会の開催(9/17) 院内登録看護師(緩和ケア)の育成 開業医・訪問看護・ケアマネジャー等と病院スタッフの定例web交流会(1/月)を通じて情報共有等を通じて人材育成の一助としている。(松江赤十字病院) 島根県がん診療連携拠点病院 がん看護研修でELNIC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラムの開催(10/29、10/30) 受講者18名 島根大学緩和ケア研修会を開催した(9/3) 受講者24名(医師・歯科医師 22名、それ以外の職種 2名) 島根大学 がん医療従事者研修会で岩手医科大学と「地域で実践するACP」について開催(12/20)(島根大学医学部附属病院) 緩和ケア研修会の開催(R4.10/22) 修了者18名(医師:15名、医師以外:3名) E-FIELD(人生の最終段階における医療・ケア決定プロセス研修会)にWEB参加8名(2022/10/30) ACP講演(2022/8/23緩和ケア地域連携カンファレンスWEB)(県立中央病院) 当院を会場として、浜田・益田圏域の医療従事者を対象にPEACEプロジェクトによる緩和研修を開催した。その際、当院緩和ケアチームスタッフ、がん相談支援センタースタッフ、MSWなどが講師・ファシリテーターとして参加した。 看護スタッフ2名ELNEC-J研修受講。 がんに関わる医療従事者のための研修に看護師1名受講。(浜田医療センター)
<p>施策 35 患者とその家族に関わる医療・介護従事者のより一層の人材育成(医師以外)</p>	<p>県 医療機関</p>	<p>—</p>	<ul style="list-style-type: none"> 在宅医への緩和ケア研修会開催の検討、準備を行った(県、県医師会、拠点病院等) がん診療連携拠点病院医療従事者研修会(R3.2/25開催) 在宅緩和ケア多職種カンファレンス研修会(12/3開催) 緩和ケア研修会(がんに関わる医療従事者のための研修会)(10/24開催) ELNEC研修会(11/7・11/8開催) 地域連携医療従事者研修会(10/28開催)(松江市立病院) 緩和ケア研修会(2/20)、緩和ケア地域連携検討会(研修会)(10/30)(隠岐圏域とまめネットでのオンライン開催)、緩和ケア・がん看護基礎コース研修(8~12月)、疼痛緩和の薬物療法に関する勉強会の開催(4/7)、化学療法レジメンに関する勉強会の開催(松江市薬剤師会と共催)(2/25)(松江赤十字病院) がん医療従事者研修会として、緩和ケアに特化した研修会を開催した。(1/26)(島根大学医学部附属病院) 緩和ケア研修会(10/11) 在宅PCAポンプ研修会(12/5) キャリアラダーレベル別教育[がん看護]「緩和ケア」 地域医療研修会「保険薬局薬剤師と病院薬剤師のがん化学療法に関する情報提供」(9/17)Web研修(県立中央病院) 薬剤師 日本緩和医療薬学会 教育セミナー 日本緩和医療学会 教育セミナー 看護師 緩和・支持・心のケア 合同学術大会 日本癌治療学会学術集会 エンゼルケア・グリーフケア院内研修会(益田赤十字病院) 	<ul style="list-style-type: none"> 緩和ケア研修会(がんに関わる医療従事者のための研修会)(R3.10/16開催) 在宅緩和ケア多職種カンファレンス研修会コア委員会(R3.6/17、R4.1/27開催) ELNEC研修会(11/20・11/21開催) がん診療連携拠点病院医療従事者研修会は新型コロナ感染拡大時期と重なり次年度へ延期(松江市立病院) がん化学療法勉強会の開催(5月~9月全5回開催) 緩和ケア・がん看護コース研修の開催(6~11月)(再掲指標34) 緩和ケア地域連携検討会(研修会)「PCAポンプを用いて症状とQOLの改善を図ろう」の開催(8/26)(再掲指標34) ELNIC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラムの開催(10/30、10/31)(再掲指標34) 緩和ケアシンポジウム「転移性骨腫瘍の治療・ケア」の開催(12/3)(再掲指標23) 松江市薬剤師会との共催の勉強会「化学療法レジメンを理解するために知っておいて欲しいこと」の開催(11/18)(再掲指標23) 放射線治療セミナー「放射線看護 松江圏域のがん看護と地域医療の発展のために」の開催(11/19)(再掲指標23) 緩和ケアシンポジウム「転移性骨腫瘍の治療・ケア」の開催(12/3)(再掲指標23) 医療用麻薬の評価(自記式記録)についての勉強会の開催(12/7)(再掲指標34) 「非がんの患者への緩和ケアを理解する」研修会の開催(1/12)(再掲指標34) 緩和ケア研修会の開催を2/26に予定していたが、オミクロン株の急速な感染拡大により、やむを得ず今年度の開催を中止とした。(再掲指標29)(松江赤十字病院) 島根県がん診療連携拠点病院がん看護研修(緩和ケア)の実施 「ELNEC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラム」(1/8~9) 受講者24名 「がん薬物療法看護研修」(1/22) 受講者46名(島根大学医学部附属病院) 緩和ケア研修会(R4.2/5) キャリアラダーレベル別教育[がん看護]、「緩和ケア」(県立中央病院) 当院を会場として、浜田・益田圏域の医療従事者を対象にPEACEプロジェクトによる緩和研修を開催した。 患者と家族への看護の質の向上を目的に、看護師2名がELNIC-Jに出席。人材の育成を行った。(浜田医療センター) 日本緩和医療薬学会 日本緩和医療学会 参加(益田赤十字病院) 	<ul style="list-style-type: none"> 緩和ケア研修会(がんに関わる医療従事者のための研修会)(R4.11.8開催) 29名受講 在宅緩和ケア多職種カンファレンス研修会コア委員会(R4.6.23/R4.11.17開催) がん診療連携拠点病院医療従事者研修会「告知を受けた患者さんのサインを見逃さない~早期に患者さんのサインに気づくには~」 島根大学医学部附属病院稲垣正俊医師(松江市立病院) がん化学療法勉強会の開催(5月~12月全6回開催) 緩和ケア・がん看護コース研修の開催(6~11月)(再掲指標34) 放射線治療セミナー「がんと闘う!! 高精度放射線治療の有用性」の開催(2/13)(再掲指標23) 緩和ケア研修会の開催(9/17)(再掲指標29)(松江赤十字病院) 島根県がん診療連携拠点病院がん看護研修(緩和ケア)の実施 「ELNEC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラム」(10/29.30) 受講者18名 島根大学 がん医療従事者研修会で岩手医科大学と「地域で実践するACP」について開催(12/20) 院内キャリアアップ研修 がん看護コース(年6回)(島根大学医学部附属病院) 緩和ケア研修会(R4.10/22) キャリアラダーレベル別教育[がん看護]、「緩和ケア」開催 緩和ケア地域連携カンファレンスの開催情報を院内掲示板に毎回広報し希望者が参加できた。 薬剤管理研修WEB開催(2022/8/25:参加者45名) 島根大学病院と共催でがん市民公開講座をハイブリッドで開催(2022/10/2:参加者91人) 緩和ケア講演会ハイブリッド開催(2022/11/8:参加者130名)(県立中央病院) 地域医療従事者研修会として、①緩和ケア病棟ってどんなところ ~こんな退院支援しています~(2022/11/17)開催。②外来化学療法治療 化学療法ってこんな感じ 化学療法しながらの生活について(2023/2/16)を開催。(浜田医療センター)

具体的施策	実施主体	重点施策	R2(2020)年度	R3(2021)年度	R4(2022)年度
施策36 緩和ケアを適切に提供するための取組の強化	県、島根大学医学部附属病院、医療機関	ー	<ul style="list-style-type: none"> ・苦痛のスクリーニング実施の実態把握調査を実施（県） ・厚生労働省緩和ケアチーム研修指定病院 ・緩和ケア地域連携バスを活用し、病診連携の充実や患者家族支援を図っている ・緩和ケアセンターが中心となり、緩和ケアチーム・病棟・外来との連携を図っている ・緩和ケア多職種カンファレンスコア委員会を開催し、地域との連携推進のために院内・外の医療関係者間での事例検討・情報共有・意見交換を行っている（松江市立病院） ・苦痛スクリーニングを入院・外来患者に実施し、早期からの緩和ケアに取り組んでいる ・緩和ケアチームに1名のがん看護専門看護師、2名の緩和ケア認定看護師を配置している ・緩和ケアの院内登録看護師を育成と、その活用を行っている ・専門看護領域部署を設置し、所属するがん看護担当看護師及び外来・病棟配置のがん専門看護師・認定看護師によるがん患者カウンセリング及び患者の相談支援を実施している ・医療用麻薬開始時に、自記式記録用紙をもちいて患者が在宅でのセルフコントロールができるよう支援している ・WHO癌疼痛ガイドライン改定に併せ、院内緩和ケア指針の改訂を行った ・症状の共有・緩和が円滑・適切に実施できるように、緩和ケア地域連携バスの「療養日記」を当院通院患者にも活用している（松江赤十字病院） ・苦痛のスクリーニングを外来・入院患者に実施した。2次スクリーニングを実施して苦痛への対応状況の確認と対応策を検討した ・緩和ケアセンター（緩和ケア病棟・チーム・外来）に1名の緩和ケア認定看護師、3名の緩和ケア認定看護師を配置している ・緩和ケアリンクナースを配置して定期的な情報交換を実施した ・がん看護外来を設置し、がん患者カウンセリングを実施した ・薬剤師外来の設置や病棟薬剤師により医療用麻薬導入時などに服薬指導を実施した ・緩和ケア外来を受診した患者を対象に、薬剤師が保険薬局と服薬情報提供書（トレンクレポート）を用いた情報提供を実施した ・緩和ケアチームの質の向上のため日本緩和医療学会のセルフチェックプログラムへ参加することにより、活動を評価した（島根大学医学部附属病院） ・苦痛スクリーニングを外来化学療法室利用者のみならず、質問票の使用を希望するすべての患者が利用できるように運用。入院時がんを主病名とする患者のリストアップを行い、スクリーニングの拡大を図った ・医療用麻薬の注射剤で疼痛コントロールをしている患者の外出・外泊、自宅退院に関してPCAポンプを使用する体制が整備されており、必要に応じて提供することができる ・外来、各病棟に緩和ケアリンクナース配置し、連携を図っている ・がん看護外来設置。がん領域専門看護師・認定看護師によるがん患者指導を行っている（県立中央病院） ・がん性疼痛や鎮痛薬に関するポケットマニュアルを活用し治療・ケアにあたっている（益田赤十字病院） 	<ul style="list-style-type: none"> ・緩和ケア地域連携バスを活用し、病診連携の充実や患者家族支援を図っている ・緩和ケアセンターが中心となり、緩和ケアチーム・病棟・外来との連携を図っている ・緩和ケア多職種カンファレンスコア委員会を開催し、地域との連携推進のために院内・外の医療関係者間での事例検討・情報共有・意見交換を行っている（松江市立病院） ・苦痛のスクリーニングを入院・外来患者に実施し、早期からの緩和ケアに取り組んでいる ・緩和ケアチームに1名のがん看護専門看護師、1名の緩和ケア認定看護師を配置している ・緩和ケアの院内登録看護師の育成と、その活用を行っている ・専門看護領域部署を設置し、所属するがん看護担当看護師及び外来・病棟配置のがん専門看護師・認定看護師によるがん患者カウンセリング及び患者の相談支援を実施している ・症状の共有・緩和が円滑・適切に実施できるように、緩和ケア地域連携バスの「療養日記」を当院通院患者にも活用している ・松江圏域緩和ケア情報提供書及び緩和ケア地域連携バスを活用し、病病・病診連携の推進により、患者家族支援を図っている ・オピオイド使用開始患者をピックアップし、自記式記録用紙及び療養日記を活用したセルフケア支援及び在宅との連携を推進するシステム整備をおこなった。（松江赤十字病院） ・苦痛のスクリーニングを外来・入院患者に実施した ・2次スクリーニングを実施して苦痛への対応状況の確認と対応策を検討した ・緩和ケアセンター（緩和ケア病棟・チーム・外来）に3名の緩和ケア認定看護師を配置している ・緩和ケアリンクナースを配置して定期的な情報交換を実施した ・がん看護外来を設置し、がん患者カウンセリングを実施した ・薬剤師外来の設置や病棟薬剤師により医療用麻薬導入時などに服薬指導を実施した ・緩和ケアチームの質の向上のため日本緩和医療学会のセルフチェックプログラムへ参加することにより、活動を評価した（島根大学医学部附属病院） ・苦痛スクリーニングを外来、入院患者に実施し、苦痛や気がかりに対応している ・医療用麻薬の注射剤で疼痛コントロールをしている患者の外出・外泊、自宅退院に関してPCAポンプを使用する体制が整備されており、必要に応じて提供することができる ・外来、各病棟に緩和ケアリンクナース配置し、連携を図っている ・がん看護外来設置。がん領域専門看護師・認定看護師によるがん患者指導を行っている（県立中央病院） ・ACP委員会の立ち上げとマニュアルに則ってACPを試行した（R4年度本格試行に向かってマニュアル見直し中） ・スタッフから要請のある入院患者に対する緩和ケアチームのラウンド実施 ・緩和病棟への入棟に関連する不安や病状への不安などを緩和させ、終末期および症状緩和を必要とする患者に安心・安楽なケアを提供できることを目的に、緩和病棟への入棟審査後の一般病棟での待機期間中において、緩和ケア認定看護師が患者訪問を開始した（浜田医療センター） ・がん性疼痛や鎮痛薬に関するポケットマニュアルを活用し治療・ケアにあたっている（益田赤十字病院） 	<ul style="list-style-type: none"> ・緩和ケア地域連携バスを活用し、病診連携の充実や患者家族支援を図っている ・緩和ケアセンターが中心となり、緩和ケアチーム・病棟・外来との連携を図っている ・緩和ケア多職種カンファレンスコア委員会を開催し、地域との連携推進のために院内・外の医療関係者間での事例検討・情報共有・意見交換を行っている（松江市立病院） ・苦痛のスクリーニングを入院・外来患者に実施し、早期からの緩和ケアに取り組んでいる ・緩和ケアチームに1名のがん看護専門看護師、1名の緩和ケア認定看護師を配置している ・緩和ケアの院内登録看護師の育成と、その活用を行っている ・専門看護領域部署を設置し、所属するがん看護担当看護師及び外来・病棟配置のがん専門看護師・認定看護師によるがん患者カウンセリング及び患者の相談支援を実施している ・症状の共有・緩和が円滑・適切に実施できるように、緩和ケア地域連携バスの「療養日記」を当院通院患者にも活用している ・松江圏域緩和ケア情報提供書及び緩和ケア地域連携バスを活用し、病病・病診連携の推進により、患者家族支援を図っている。（松江赤十字病院） ・苦痛のスクリーニング（生活のしやすさに関する質問票）を外来・入院患者に実施した ・2次スクリーニングを実施して苦痛への対応状況の確認と対応策を検討した ・緩和ケアセンター（緩和ケア病棟・チーム・外来）に1名の緩和ケア認定看護師、1名の緩和ケア認定看護師、1名の緩和ケア認定看護師を配置している ・緩和ケアリンクナースを配置して定期的な情報交換を実施した ・がん看護外来を設置し、がん患者カウンセリングを実施した ・薬剤師外来の設置や病棟薬剤師により医療用麻薬導入時などに服薬指導を実施した ・緩和ケアチームの質の向上のため日本緩和医療学会のセルフチェックプログラムへ参加することにより、活動を評価した（島根大学医学部附属病院） ・外来、入院患者に苦痛スクリーニングを実施し、苦痛や気がかりに対応している ・医療用麻薬の注射剤で疼痛コントロールをしている患者の外出・外泊、自宅退院に関してPCAポンプを使用する体制が整備されており、必要に応じて提供することができる ・外来、各病棟に緩和ケアリンクナース配置し、連携を図っている ・がん看護外来ではがん領域専門看護師・認定看護師によるがん患者指導、相談支援を行っている（県立中央病院） ・緩和ケア病棟に入棟されている患者に対しての疼痛コントロールが、迅速かつ適切に提供できるようにするため、疼痛評価表を作成し、毎日評価を実施開始した（11月より）。（浜田医療センター） ・がん性疼痛や鎮痛薬に関するポケットマニュアルを活用し治療・ケアにあたっている（益田赤十字病院）

具体的施策	実施主体	重点施策	R2(2020)年度	R3(2021)年度	R4(2022)年度
施策37 個別の状況に応じた緩和ケアや、グリーフケアに対する取組の検討	県 拠点病院等	—	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の症例カンファレンスを定期的に多職種で行っている ・在宅緩和ケア多職種カンファレンスコア委員会での事例検討(3回開催)(7/31・3/12 他12月に文書報告を行った) ・緩和ケアチームや緩和ケア病棟によるデスカンファレンスの実施 ・遺族来院時の対応や遺族へのグリーフハガキの送付 ・緩和ケア病棟主催の遺族会の定期開催(松江市立病院) ・必要に応じて、在宅緩和ケア適応ケースでの事例検討、デスカンファレンスを実施している ・自死患者の対応について診療科、精神科医師、他関わった部門、職種が参加してカンファレンスを開催。今後の医療ケアに生かせるよう取り組んでいる ・AMED津端班老年腫瘍学ワークショップに医師2名が参加 ・NST、RST、認知症ケアチーム、褥瘡チーム等の専門チームと連携し、総合的見地からがん患者のQOL改善に努めている(松江赤十字病院) <p>緩和ケア病棟において、ご遺族へのグリーフレターの送付を行っている。緩和ケア病棟でのデスカンファレンス、緩和ケアチームによる一般病棟でのデスカンファレンスを実施している(島根大学医学部附属病院)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奨励カンファレンスを定期的に多職種で行っている ・必要に応じてデスカンファレンスを実施して、今後のケアに活かせるよう取り組んでいる(県立中央病院) <ul style="list-style-type: none"> ・緩和ケア病棟において、ご遺族へグリーフレターの送付をしている。デスカンファレンスの実施している(浜田医療センター) <ul style="list-style-type: none"> ・引き続きデスカンファレンスを行っている(益田赤十字病院) 	<ul style="list-style-type: none"> ・遺族来院時の対応や遺族へのグリーフハガキの送付 ・緩和ケア病棟主催の遺族会の定期開催 ・10月開催予定だったが新型コロナ感染症のため延期し2022年10月とした(松江市立病院) ・必要に応じて、在宅緩和ケア適応ケースでの事例検討、デスカンファレンスを実施し、今後のケア及び連携に活かす取り組みを行っている ・グリーフケアを希望する患者個々の相談に応じ、緩和ケアチームでの診療・ケア及び院外のサポートプログラムを紹介する取り組みを行なっている ・個別の状況に応じ、NST、RST、認知症ケアチーム、褥瘡チーム等の専門チームと連携し、総合的見地からがん患者のQOL改善に努めている(松江赤十字病院) ・緩和ケア病棟において、ご遺族へのグリーフレターの送付を行っている。緩和ケア病棟でのデスカンファレンス、緩和ケアチームによる一般病棟でのデスカンファレンスを実施している(島根大学医学部附属病院) ・症例カンファレンスを定期的に多職種行っている ・必要に応じてデスカンファレンスを実施して、今後のケアに活かせるよう取り組んでいる(県立中央病院) ・遺族来院時に対応を行っている(県立中央病院) ・感染予防に留意しながら、PCR検査の実施など検討しながら患者家族との面会を計画実施した。 ・感染症蔓延地区在住の家族においてはオンライン面会を計画し実施した。 ・感染対策をとりながら、短時間の外出や外泊を実施し、終末期の患者と家族ケアを行った。 ・療養環境の調整において、季節ごとの催しを計画実施している。ご家族の来院に制限があるため、写真や動画で記録し、お手紙を添え送らせて頂いている。 ・患者の逝去後3～4か月を目安に遺族への手紙を送らせて頂き、グリーフケアに努めている。(浜田医療センター) ・引き続き必要に応じてデスカンファレンスを行っている(益田赤十字病院) 	<ul style="list-style-type: none"> ・遺族来院時の対応や遺族へのグリーフハガキの送付 ・緩和ケア病棟主催の遺族会の定期開催 ・新型コロナ感染症のため延期し2020年度遺族会を2022年10月、2021年度遺族会を2023年3月に実施した。(松江市立病院) ・必要に応じて、在宅緩和ケア連携ケースでの事例検討、デスカンファレンスを実施し、今後のケア及び連携に活かす取り組みを行っている ・グリーフケアを希望する患者個々の相談に応じ、緩和ケアチームでの診療・ケア及び院外のサポートプログラムを紹介する取り組みを行なっている ・個別の状況に応じ、NST、RST、認知症ケアチーム、褥瘡チーム等の専門チームと連携し、総合的見地からがん患者のQOL改善に努めている ・コロナでの面会禁止期間も、抗原検査の実施により面会を許可、またオンライン面会を活用し、患者・家族の終末期のケアの質向上を図った。 ・非がんや死産ベビーも含め、必要と評価したがん患者に対し、グリーフケアに活かす死化粧(エンゼルケア)の取り組みをおこなっている。(松江赤十字病院) ・緩和ケア病棟において、ご遺族へのグリーフレターの送付を行っている。 ・緩和ケア病棟でのデスカンファレンス、緩和ケアチームによる一般病棟でのデスカンファレンスを実施している(島根大学医学部附属病院) ・症例カンファレンスを定期的に多職種で行っている ・必要に応じてデスカンファレンスを実施して、今後のケアに活かせるよう取り組んでいる ・遺族来院時に対応を行っている(県立中央病院) ・感染防止対策に注意しながら家族との面会を計画実施した。 ・外出についてもご家族の都合など調整を行い、希望の実現に向けて支援した。 ・面会が頻回に出来ないご家族に対しては、療養中の様子を定期的に電話連絡させて頂いた。電話以外に写真などの郵送などのケアも実施した。 ・逝去後3～4ヶ月を目安に受け持ち看護師から手紙を送らせて頂きグリーフケアを継続している。(浜田医療センター) ・必要に応じてデスカンファレンスを行っている。 ・保健所が主催する緩和ケアに関するカンファレンスに職員が参加している。(益田赤十字病院)

[中間アウトカム9] 患者が望む場所で適切な緩和ケアを受けられている

具体的施策	実施主体	重点施策	R2(2020)年度	R3(2021)年度	R4(2022)年度
施策38 地域での緩和ケアの提供を支える基盤の強化	県 医療機関	重点 施策	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点病院主催の緩和ケア研修会を医療機関及び各医師会へ案内 ・令和3年度から実施する在宅医への緩和ケア研修会の企画及び準備(県、県医師会) 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本医師会生涯教育講座の1コマとして、在宅医への緩和ケア研修会を実施(県、県医師会) ・地域医療従事者研修会としてがん患者支援についてZoom研修会を開催した ・当院を会場として、浜田・益田圏域の医療従事者を対象にPEACEプロジェクトによる緩和研修を開催した(浜田医療センター) 	<ul style="list-style-type: none"> ・当院を会場として、浜田・益田圏域の医療従事者を対象にPEACEプロジェクトによる緩和研修を開催した(浜田医療センター)
施策39 圏域ごとの在宅緩和ケア提供体制の強化	県	重点 施策	<ul style="list-style-type: none"> ・緩和ケア地域ネットワーク会議開催、遺族開取調査結果の配布、住民への普及啓発・出前講座、圏域在宅医療・緩和ケア資源情報の更新、がんサロン活動支援(県、市町村) 	<ul style="list-style-type: none"> ・緩和ケア従事者研修会実施、圏域在宅医療・緩和ケア資源情報の更新、住民への普及啓発、がんサロン活動支援、ハンドブック作成(県、市町村) 	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域在宅医療・緩和ケア資源情報の更新、住民への普及啓発、がんサロン活動支援、ハンドブック配布(県、市町村)

緩和ケア

[中間アウトカム10] 患者とその家族が、自分らしく生きるために治療や療養生活を自己選択し、その状況に満足している

具体的施策	実施主体	重点施策	R2(2020)年度	R3(2021)年度	R4(2022)年度
<p>施策40 意思決定支援に対する取組の検討</p>	<p>県 拠点病院等</p>	<p>—</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・マンガ「ACP=人生会議って何だろう？」を作成し、普及啓発した(県) ・「ACPワーキンググループ」で事例検討や情報交換をしている ・パンフレットを作成し、院内スタッフへの周知や外来へ配置したり、患者・家族へ配布し支援を行っている ・「がん患者さんの意思を支えるワーキンググループ」で意思決定支援をしている(松江市立病院) ・医療倫理コンサルテーションチームと連携による、医療チームの意思決定支援のサポートの実施 ・相談支援分門における意思決定支援の研修を実施し、がん患者支援の充実をはかっている ・ACPの普及・啓発の推進にかかる協議・検討、市民を対象とした講座の開催などを行っている。「まっえアドバンス・ケア・プランニング普及・啓発推進協議会」に、複数診療科の医師が参加している(副会長、幹事) ・告知における心理的負担軽減をはかるために、意思決定支援に専門領域看護師が関与している ・緩和ケア地域連携検討会で患者の意向、価値を尊重した療養場所の選択、支援について検討した ・終末期の意思決定に係るマニュアルを整備・共有している ・インフォームドコンセントに関するマニュアルを改訂、共有(松江赤十字病院) <p>アドバンスケアプランニングについて、病院内での研修、地域医療機関との定期的な緩和ケア地域連携カンファレンスなどで、普及の啓発を図っている(島根大学医学部附属病院)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救命のために最善の医療や措置を行ったにもかかわらず、死が不可避になった患者に対する医療行為の開始・不開始、医療内容の変更、医療行為中止などの判断の道筋を示した終末期医療に係るガイドラインを作成。全職員に周知後運用している ・ACP勉強会(研修医向け)開催 ・介護施設へACP講演会講師派遣(県立中央病院) <ul style="list-style-type: none"> ・アドバンスケアプランニングに関する普及、運用についての検討を進めている。(浜田医療センター) <ul style="list-style-type: none"> ・ACP計画の策定は進んでいない。(益田赤十字病院) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ACPワーキンググループ」で事例検討を実施 ・ACP医療者用実践ガイドを作成した(松江市立病院) <ul style="list-style-type: none"> ・全職員を対象にした医療倫理に関する研修会を実施し、意思決定支援の重要性について啓発・教育を行なっている ・医療倫理コンサルテーションチームが必要に応じて、医療チームの意思決定支援のサポートを実施している ・相談支援分門における意思決定支援の研修を実施し、がん患者支援の充実をはかっている ・ACPの普及・啓発の推進にかかる協議・検討、市民を対象とした講座の開催などを行っている。「まっえアドバンス・ケア・プランニング普及・啓発推進協議会」に、複数診療科の医師が参加、啓発動画作成に協力した。動画は院内で放映し来院者への周知を行なっている ・告知における心理的負担軽減をはかるために、意思決定支援に専門領域看護師が関与している ・緩和ケア地域連携検討会「PCAポンプを用いて症状とQOLの改善を図ろう」(8/26)で患者の意向、価値を尊重した療養場所の選択、支援について検討した ・終末期の意思決定に係るマニュアル及びインフォームドコンセントに関するマニュアルを整備・共有している ・患者の意向を尊重した意思決定のための研修会(eフィールド)へ医療チームが参加(1/30)(松江赤十字病院) <ul style="list-style-type: none"> ・アドバンスケアプランニングについて、病院内研修、地域との定期的な緩和ケア地域連携カンファレンスなどで普及を図っている(島根大学医学部附属病院) <ul style="list-style-type: none"> ・意思決定支援の普及啓発、運用について検討している ・終末期医療に係るガイドラインを整備、運用している ・意思決定支援の院内研修開催 ・ACP勉強会(研修医向け)開催 ・地域の医療従事者へACP研修会WEB開催 ・意思決定支援教育プログラムE-FIELDに院内1チーム受講(県立中央病院) <ul style="list-style-type: none"> ・ACP委員会の立ち上げとマニュアルに則ってACPを試行した(R4年度本格試行に向かってマニュアル見直し中) ・アドバンスケアプランニングの普及を推進している(浜田医療センター) <ul style="list-style-type: none"> ・アドバンスケアプランニング計画に関して院内検討を進めているものの策定は出来ていない(益田赤十字病院) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ACPワーキンググループ」で事例検討を実施 ・ACP医療者用実践ガイドを作成した。(松江市立病院) <ul style="list-style-type: none"> ・医療倫理コンサルテーションチームが必要に応じて、医療チームの意思決定支援のサポートを実施している ・相談支援分門における意思決定支援の研修を実施し、がん患者支援の充実をはかっている ・ACPの普及・啓発の推進にかかる協議・検討、市民を対象とした講座の開催などを行っている。「まっえアドバンス・ケア・プランニング普及・啓発推進協議会」に、複数診療科の医師が参加、啓発動画作成に協力した。動画は院内で放映し来院者への周知を行なっている ・告知・治療選択における心理的負担軽減をはかるために、意思決定支援に専門領域看護師が関与している ・終末期の意思決定に係るマニュアル及びインフォームドコンセントに関するマニュアルを整備・共有している ・職員が気軽に日常の倫理的問題や悩みを共有出来る倫理カフェを月に一度開催し、倫理的視点の向上に務めている。(松江赤十字病院) <ul style="list-style-type: none"> ・アドバンスケアプランニングについて、病院内研修、地域と定期的に緩和ケア地域連携カンファレンスなどで普及を図っている ・アドバンスケアプランニング部門連絡会議の開催(島根大学医学部附属病院) <ul style="list-style-type: none"> ・意思決定支援の普及啓発、運用について検討している ・終末期医療に係るガイドラインを整備、運用している ・意思決定支援の院内研修開催 ・ACP勉強会(研修医向け)開催 ・地域の医療従事者へACP研修会開催 ・意思決定支援教育プログラムE-FIELDに院内2チーム受講(県立中央病院) <ul style="list-style-type: none"> ・ACPマニュアルに則ってACPを開始した。 ・院内各所にACPの冊子等設置している。(浜田医療センター) <ul style="list-style-type: none"> ・アドバンスケアプランニングに関して院内検討を進めているが、具体的な仕組み作りには至っていない。 ・行政が行うACPに関する周知活動に協力している(ポスター掲示、会議への参加等)。(益田赤十字病院)

緩和ケア

【全体目標】 尊厳をもって安心して暮らせる社会の構築 (患者家族支援、がん教育)

(1) 患者・家族の治療や療養生活の悩みが軽減するための支援 (患者家族支援)

[最終アウトカム5] 患者とその家族の治療や療養生活の悩みが軽減している

[中間アウトカム11] 患者が相談できる環境があると感じている

具体的施策	実施主体	重点施策	R2(2020)年度	R3(2021)年度	R4(2022)年度
<p>施策41</p> <p>国が提唱する統括相談支援センター(がん患者家族サポートセンター)の運営</p>	<p>県 島根大学医学部附属病院</p>	<p>—</p>	<p>がん相談員実務担当者会を開催し、相談員等の研修会や、ピアサポーター相談会・フォローアップ研修、就労支援、広報活動実施について、企画運営・情報共有を行った(島根大学医学部附属病院)</p>	<p>・がん相談員実務担当者会を開催し、相談員等研修会や、ピアサポーター相談会、就労支援、広報活動について企画運営・情報共有を実施(島根大学医学部附属病院)</p>	<p>・がん相談員実務担当者会を開催し、県内病院相談支援センターのPDCAサイクルの検討、相談員等研修会や、ピアサポート活動、就労支援、広報活動についての企画運営・情報共有を実施(島根大学医学部附属病院)</p>
<p>施策42</p> <p>がん相談支援センターの認知度向上</p>	<p>拠点病院の医療従事者</p>	<p>—</p>	<p>・ホームページ・院内掲示・入院時に渡す「入院のご案内」等で紹介している ・パンフレットを作成し、必要時に患者・家族に渡したり、受付にも設置 ・がん啓発イベント時には、病院来院者や一般市民の方へパンフレット等を配布、パネル展示などを行い周知を図っている ・がん関係の市民向け出前講座にがん専門相談員も同行し周知を図っている(松江市立病院)</p> <p>・パンフレット・ホームページ、ブログ、院内掲示・モニターにより周知活動を実施。がん告知時に個別に医師、看護師より紹介 ・入院時前の説明、情報収集時に就労、両立支援が必要な方へ個別に情報提供を行う ・ケーブルTVを活用した市民公開講座の番組作成・院内活用。(放射線治療・肺がんの治療・ゲノム診療について) ・UICCワールドキャンサーデーの取り組みに参加し、院内をイルミネーションによりライトアップし、セレモニーを行った。また地元TV局の協力を得て、鉄塔のライトアップを行った ・患者さんの応援メッセージを動画で作成し、YouTubeに投稿した。また、ポスターを掲示し、院内外に周知を行った ・地元TV局の取材を受け、コロナ禍でのがん診療やサポートの仕組みについて情報発信を行った(松江赤十字病院)</p> <p>ホームページへの掲載、外来各病棟へのリーフレット設置、院内モニターでの放映(島根大学医学部附属病院)</p> <p>・病院ホームページの掲載、院内各所にがん相談支援センターのポスターを掲示、入院案内にちらしを添付(県立中央病院)</p> <p>・ホームページ、院内掲示、広報誌、出前講座により周知(浜田医療センター)</p>	<p>・ホームページ・院内掲示・入院時に渡す「入院のご案内」等で紹介している ・パンフレットを作成し、必要時に患者・家族に渡したり、受付にも設置 ・がん啓発イベント時には、病院来院者や一般市民の方へパンフレット等を配布、パネル展示などを行い周知を図っている(松江市立病院)</p> <p>・パンフレット・ホームページ、ブログ、院内掲示・モニターにより周知活動を実施している ・がん告知・診察時に個別に医師、看護師より「島根のがんサポートブック」や相談支援センターパンフレットを手渡すなどして紹介している ・UICCワールドキャンサーデーに参加。イルミネーションによるライトアップとセレモニーを開催し、関連動画をYouTubeで発信した。また地元TV局の協力を得て、鉄塔のライトアップを行った ・国立がん研究センターの「がん情報ギフト連携プロジェクト」に参画、周知動画の作成に協力し動画は院内で放映している ・苦痛のスクリーニング結果や、入院支援システムを活用したがん相談支援センターの「先回り支援」体制を整備し、早期介入に努めている ・患者総合支援センターが開設している相談窓口「ここ・から相談窓口」と連携し、がん相談支援センターへのアクセスを強化した(松江赤十字病院)</p> <p>・ホームページの掲載、玄関ロビーや外来各病棟へのリーフレットの設置、院内モニターへの掲載を継続 ・市民公開講座オンライン開催において島根県立中央病院との共催で相談支援センター紹介・活用について動画作成しケーブルテレビで配信 ・図書館と県内各相談支援センターを「結ぶ」事業を国がんと共催で企画し県の「しまねっこチャンネル」にて配信(島根大学医学部附属病院)</p> <p>・病院ホームページの掲載、院内掲示、入院時にリーフレットを入れて周知している ・病棟や外来とのカンファレンスを持ち、必要時、個別に声掛けや相談支援センターの紹介をしている(県立中央病院)</p> <p>・ホームページ、院内掲示、広報誌、地域医療従事者研修会にて周知、しまねっこチャンネルにて紹介(浜田医療センター)</p>	<p>・ホームページ・院内掲示・入院時に渡す「入院のご案内」等で紹介している ・パンフレットを作成し、必要時に患者・家族に渡したり、受付にも設置 ・がん啓発イベント時には、病院来院者や一般市民の方へパンフレット等を配布、パネル展示などを行い周知を図っている(松江市立病院)</p> <p>・パンフレット・ホームページ、ブログ、院内掲示・モニターにより周知活動を実施している ・相談支援センターが企画して発信するYouTube番組を発信している ・厚生労働省労働局が主催する両立支援のオンラインセミナーで取り組みの発表を行なった。 ・がん告知・診察時に個別に医師、看護師より「島根のがんサポートブック」や相談支援センターパンフレットを手渡すなどして紹介している ・苦痛のスクリーニング結果や、入院支援システムを活用したがん相談支援センターの「先回り支援」体制を整備し、早期介入に努めている ・患者総合支援センターが開設している相談窓口「ここ・から相談窓口」と連携し、がん相談支援センターへのアクセスを強化した(松江赤十字病院)</p> <p>・ホームページや患者向け広報紙への掲載、玄関ロビーや外来、各病棟へのリーフレットの設置、院内モニターへの掲載を継続 ・医師や看護師から患者、家族にリーフレットを手渡し、利用を促す声かけを実施している。 ・「がんになっても自分らしく暮らしたい〜がんと診断されたあなたに知ってほしいこと〜」をテーマに、玄関ロビーや先端がん治療センター病棟にて、パネル展を開催した。がん相談支援センターや院内の支援体制、就労支援、ほっとサロン、妊孕性温存、遺伝性腫瘍、がんゲノムセンターなど、がんに関するの周知を行った ・市民公開講座において島根県立中央病院との共催でがん相談支援センター紹介・活用について動画作成し、ケーブルテレビで配信(島根大学医学部附属病院)</p> <p>・病院ホームページの掲載、外来や各病棟のポスター掲示、入院手続き時にリーフレットを配布している。 ・病棟や外来とのカンファレンスを持ち、必要時に個別に声掛けをしている ・島根大学病院と共催で市民公開講座を開催し、がん相談支援センターに関する掲示や発表を行った(県立中央病院)</p> <p>・パンフレット、ホームページ、院内掲示、広報誌により、周知活動をしている。 ・がん告知時や診察時に個別に医師や看護師からがん相談支援センターのリーフレットを手渡したり、部屋へ直接案内し、紹介している。(浜田医療センター)</p>
<p>施策43</p> <p>がん相談支援体制の広域連携の構築</p>	<p>県、サポートセンター、拠点病院</p>	<p>—</p>	<p>・島根県がん診療ネットワーク協議会がん相談部会へ参加(松江市立病院)</p> <p>・まめネット会議サービスを活用したWebカンファレンスの開催(隠岐、安来圏域) ・島根県がん診療ネットワーク協議会がん相談部会への参加(松江赤十字病院)</p> <p>・がん相談員実務担当者会に参加(県立中央病院)</p>	<p>・島根県がん診療ネットワーク協議会がん相談部会へ参加(松江市立病院)</p> <p>・がん相談員担当者会への参加や個別の事例を通じて、県内外のがん相談支援センター相談員と連携拡大に努めている(松江赤十字病院)</p> <p>・島根県がん診療ネットワーク協議会がん相談員実務担当者会に参加(県立中央病院)</p> <p>・地域医療従事者研修会としてがん患者支援についてZoom研修会を開催した ・島根県がん診療ネットワーク協議会、がん相談員実務担当者会への参加(浜田医療センター)</p>	<p>・島根県がん診療ネットワーク協議会がん相談部会へ参加(松江市立病院)</p> <p>・がん相談員担当者会への参加や個別の事例を通じて、県内外のがん相談支援センター相談員と連携拡大に努めている。(松江赤十字病院)</p> <p>・鳥取県と共催し、がん相談員等研修会「情報から始まる相談支援」を運営実施した。鳥取県をはじめ、他県の相談員とも、情報共有することができた。 ・小児がんに関し、中四国ブロック相談支援部会に参加し、中四国の小児がんに対する取り組みを情報共有した。(島根大学医学部附属病院)</p> <p>・島根県がん診療ネットワーク協議会がん相談員実務担当者会に参加(県立中央病院)</p> <p>・島根県がん生体ネットワーク協議会、がん相談員実務担当者会への参加(浜田医療センター)。</p>

患者家族支援

具体的施策	実施主体	重点施策	R2(2020)年度	R3(2021)年度	R4(2022)年度
<p>がん相談に関わる相談員のより一層の資質向上</p>	<p>県、サポートセンター、拠点病院</p>	<p>—</p>	<ul style="list-style-type: none"> 緩和ケア研修会(10/24開催)への参加(松江市立病院) がん相談員研修会への参加。 島根県がん診療ネットワーク協議会がん相談研修会への参加(4名)。(松江赤十字病院) 島根県がん診療ネットワーク協議会がん相談実務担当者会の開催(7/3, 3/8), がん相談員等研修会の開催(3/7)(島根大学医学部附属病院) がん相談員向け研修への参加 中国地区地域フォーラム研修会への参加(県立中央病院) がん相談員等研修会にMSWをオンライン参加させた(R2年度:3/7, 1名が参加)(益田赤十字病院) 	<ul style="list-style-type: none"> がん相談員研修会への参加 緩和ケア研修会への参加(松江市立病院) 両立支援コーディネーター交流会に参加(5/28・1/21) 治療と仕事の両立支援研修会を受講(7/30) 山陰両県がん相談員研修「がん生殖医療についての情報提供と相談支援」受講(2名 9/8) 令和3年度両立支援コーディネーター研修へ専従相談員が参加(10/6) 島根県がん診療ネットワーク協議会がん相談研修会への参加(4名 12/18) 患者の意向を尊重した意思決定のための研修会(eフィールド)へ専従相談員が参加(1/30) 地域緩和ケア連携調整員研修へ専従相談員が参加(2/6) 両立支援出張窓口担当者会議(講演会)に参加(2/21) 県主催「AYA世代のがん患者繋がるフォーラム」の運営協力・受講を専従相談員が行なった(2/26)(松江赤十字病院) 島根県がん診療ネットワーク協議会がん相談実務担当者会の開催(6/23, 2/9) 島根県がん相談員等研修会の開催(12/18, 2/26) 山陰両県がん相談員等研修会参加(9/8) 日本がん・生殖医療学会への参加(2/12~13)(島根大学医学部附属病院) がん相談員向け研修への参加(県立中央病院) 緩和ケア研修会への参加 がん相談員等の研修会へ参加(浜田医療センター) がん相談員等研修会にMSWをオンライン参加させた。(12/18:2名)(益田赤十字病院) 	<ul style="list-style-type: none"> がん相談員研修会への参加 緩和ケア研修会への参加(松江市立病院) 認定がん専門相談員研修受講 がん相談支援センター相談員指導者研修受講 がん相談支援センター相談員継続研修受講 情報から始まるがん相談支援研修受講 AYA世代がんサポート研修受講 島根県がん相談員研修会受講 高齢がん患者の意思決定支援に関する研修受講(松江赤十字病院) 認定がん専門相談員更新研修を、e-ラーニングで受講 両立支援コーディネーター交流会に参加 山陰両県がん相談員研修会運営・受講 島根県がん相談員等研修会企画運営・受講 日本がん・生殖医療学会学術集会への参加 地域がん診療連携拠点病院「高齢者がん診療ガイドライン」研修会受講 国立がん研究センター主催「障害のある患者さんの来院時に医療機関に求められること」の研修会受講 「長期にわたる治療等が必要な疾病をもつ求職者に対する就職支援事業に係るブロック別経験交流会」参加(島根大学医学部附属病院) がん相談員研修への参加 両立支援コーディネーター研修受講(県立中央病院) がん相談員研修会への参加。 緩和ケア研修会への参加。 がん相談員指導者研修への参加。 がん相談員実務担当者会への参加。(9/17, 1/12) 島根県ピアサポーターに関するワーキンググループへの参加。(12/22, 1/23, 3/7)(浜田医療センター) 今年度はがん相談員研修には参加できなかった。(益田赤十字病院)
<p>(再掲: 施策43) がん相談支援体制の広域連携の構築</p>	<p>県、サポートセンター、拠点病院</p>	<p>—</p>	<p>(再掲: 施策43)</p>	<p>(再掲: 施策43)</p>	<p>(再掲: 施策43)</p>

[中間アウトカム13] 患者やその家族が正しい情報を得られている

具体的施策		実施主体	重点施策	R2(2020)年度	R3(2021)年度	R4(2022)年度
施策46	わかりやすく確実に伝わる情報提供の実施(ホームページ、SNS、しまねのがんサポートブック等)	県	重点施策	<ul style="list-style-type: none"> 県ホームページ「しまねのがん対策」の情報更新 県立図書館におけるがん関連図書整備(R2 132冊)累計2,325冊(H21~)(県) 	<ul style="list-style-type: none"> 県ホームページ「しまねのがん対策」の情報更新 県立図書館におけるがん関連図書整備(R3 32冊)累計2,357冊(H21~) 「しまねのがんハンドブック(しまねのがんサポートブック更新版)」を作成 国立がん研究センターが実施するがん情報ギフト「結ぶ」事業の中で、正しい情報を得る方法として各相談支援センターと図書館を紹介する動画を作成し、YouTubeで公開(県) 	<ul style="list-style-type: none"> 県ホームページ「しまねのがん対策」の情報更新 県立図書館におけるがん関連図書整備(R4 30冊)累計2,267冊(H21~) がん検診啓発DMを作成し、3月に放送した がん検診に関するデジタルコンテンツを作成し、県ホームページ等に掲載 スズノオマジック選手の出演による、がん検診啓発動画をYouTubeで配信 国立がん研究センターが実施するがん情報ギフト「結ぶ」事業の中で、正しい情報を得る方法として各相談支援センターと図書館を紹介する動画を作成し、YouTubeで公開(県)
施策47	わかりやすく確実に伝わる情報提供の実施(SNSは双方向の情報発信が可能である特性を活かし、県民からの反応に対して、必要対応を行う)	県	重点施策	-	-	-
施策48	正しいがん情報の提供	拠点病院等	-	<ul style="list-style-type: none"> ホームページに各診療科の治療実績を掲載している がん情報センターの活用(インターネット・冊子等)や他の拠点病院との連携、医師や専門領域看護師等との連携による情報提供(松江市立病院) がん情報センターの活用(インターネット・冊子等)や、院内の医師、専門領域看護師等、または他の拠点病院との連携による情報提供や直接的支援を行っている お食事読本No.2(がん治療中の食事内容等について患者に情報提供するもの)の作成と病院HPでの情報提供 お食事読本(がん治療中の食事内容等について患者に情報提供するもの)の作成と病院HPでの情報提供 ホームページに各診療科の治療実績を掲載 患者総合支援センターや外来化学療法センター、その他院内各所での冊子、葉、ポスターによる情報提供及び内容の充実 島根県がんサポートブックの積極的な提供 がん遺伝子パネル検査についてのパンフレットを作成 ケーブルTVを活用した市民公開講座の番組作成・院内活用(例年は病院まつりにおいて市民公開講座を開催していた)(松江赤十字病院) 国立がん研究センターがん情報サービス、静岡がんセンターより相談、県内拠点病院ホームページを活用した情報提供の実施 一般向けのガイドラインを提示しながらの相談支援の実施(島根大学医学部附属病院) がん情報サービスによる情報や島根県がんサポートブックを活用した情報提供を実施している 相談の内容によっては、専門職と連携を図り情報提供をしている(県立中央病院) ホームページに院内がん登録報告書を掲載 がん患者や家族向け冊子の提供 がん相談支援センター内でのインターネット端末や図書を活用した情報提供 診療実績や専門領域看護師等の情報を掲載(浜田医療センター) がん相談の際に、島根県がんサポートブックやがん情報サービスなどの公的な情報資源を活用し、適切な情報提供を心掛けている。今年度から病院ホームページにもがんに関する情報ページを作成し、上記ページのリンクを張っている(益田赤十字病院) 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページに各診療科の治療実績を掲載している がん情報センターの活用(インターネット・冊子等)や他の拠点病院との連携、医師や専門領域看護師等との連携による情報提供(松江市立病院) がん情報サービス(インターネット・冊子等)の活用や、患者総合支援センター、外来化学療法センター、その他院内各所に冊子、しおり、ポスター等を設置することで情報提供を行っている 医師、専門領域看護師等の院内スタッフ、他の拠点病院との連携により情報提供や直接的支援を行っている お食事読本(がん治療中の食事内容等について患者に情報提供するもの)の作成と病院HPでの情報提供 ホームページに各診療科の治療実績を掲載 島根県がんサポートブックを告知時等に積極的に配布している ケーブルTVに依頼し、市民公開講座の番組(内視鏡治療・内視鏡手術について)を企画・制作、がん征圧月間中市内に放映した。また、制作した番組を院内でも放映するなどがん情報の提供に務めた YouTubeを活用した5大がんに関する動画「がんを知ろう」を制作し配信した 国立がん研究センターが行なうがん情報ギフト連携プロジェクトに参加し。動画の作成を行い併せて信類の置ける情報の大切さについて周知を行なった(松江赤十字病院) 国立がん研究センターがん情報サービス(インターネット・冊子)や県内拠点病院ホームページを活用した情報提供の実施 一般向けのガイドラインを提示しながらの相談支援の実施 院内医療者との連携による情報提供(島根大学医学部附属病院) がん情報サービスによる情報や島根県がんサポートブックを活用した情報提供を実施している 医師やがん看護領域認定看護師等の専門職と連携を図り情報提供をしている(県立中央病院) ホームページにがん登録報告書を掲載している ホームページに化学療法・放射線治療の実績と設備の案内を掲載している ホームページの診療科案内で、がん治療について実績等を掲載している ホームページに院内がん登録を掲載 がん情報サービスの活用(インターネット・冊子等) 他の拠点病院との連携による情報提供 院内多職種と連携を図り、情報提供 がん相談支援センター内でのインターネットや図書を活用した情報提供 ゲノム医療に関するパンフレットを作成(浜田医療センター) がん相談の際に、島根県がんサポートブックやがん情報サービスなどの公的な情報資源を活用し、適切な情報提供を心掛けている がんサロンや医療用ウイッグの制度活用についても必要に応じ案内している コロナ禍により経済困難となったがん患者に対し、医療費の支払いについて当院独自の方法で相談対応している(益田赤十字病院) 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページに各診療科の治療実績を掲載している がん情報センターの活用(インターネット・冊子等)や他の拠点病院との連携、医師や専門領域看護師等との連携による情報提供(松江市立病院) がん情報サービス(インターネット・冊子等)の活用や、患者総合支援センター、外来化学療法センター、その他院内各所に冊子、しおり、ポスター等を設置することで情報提供を行っている 医師、専門領域看護師等の院内スタッフ、他の拠点病院との連携により情報提供や直接的支援を行っている お食事読本(がん治療中の食事内容等について患者に情報提供するもの)の作成と病院HPでの情報提供 ホームページに各診療科の治療実績を掲載 島根県がんサポートブックを告知時等に積極的に配布している ケーブルTVに依頼し、市民公開講座の番組(がん治療を支える歯科口腔外科と形成外科の役割)を企画・制作、がん征圧月間中市内に放映した。また、制作した番組を院内でも放映するなどがん情報の提供に務めた(松江赤十字病院) 国立がん研究センターがん情報サービス(インターネット・冊子)や県内拠点病院ホームページを活用した情報提供の実施 一般向けガイドラインを利用しながらの相談支援の実施 院内医療者との連携による情報提供 施設別がん登録件数検索システムを利用した情報提供(島根大学医学部附属病院) がん情報サービスによる情報や島根県がんサポートブックを活用した情報提供を実施している 医師やがん看護領域認定看護師等の専門職と連携を図り情報提供をしている(県立中央病院) ホームページに化学療法・放射線治療の実績と設備の案内を掲載している ホームページに院内がん登録報告書を掲載している 院内多職種との連携による情報公開をしている ホームページの診療科案内でがん治療について案内している がん診療に係る診療看護師についての情報を院内掲示、ホームページで紹介 がん情報サービスの活用。(インターネット・冊子等) 他の拠点病院との連携による情報提供 がん相談支援センター内でのインターネットや図書を活用した情報提供。(浜田医療センター) がん相談の際に、「しまねのがんハンドブック」やがん情報サービスなどの公的な情報資源を活用し、適切な情報提供を心掛けている がんサロンや医療用ウイッグの制度活用についても必要に応じ案内している。(益田赤十字病院)

患者家族支援

[中間アウトカム14] 患者やその家族がピアサポートを受けることで悩みが軽減できている

具体的施策	実施主体	重点施策	R2(2020)年度	R3(2021)年度	R4(2022)年度
<p>施策49 ピアサポートの充実(患者サロン、ピアサポーター相談会)</p>	<p>県、サポートセンター、拠点病院等</p>	<p>重点施策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアサポーター相談会開催への支援。(開催出来ず) ・患者サロンの活動支援(毎火曜定例会一定例では実施出来ず3回のみ実施、学習会→開催出来ず、カフェサロン→開催出来ず) ・AYA世代交流会開催への支援(開催出来ず)(松江市立病院) ・インターネット、ポスター掲示、院内放送等周知活動を行い、専門領域看護師、MSW等相談担当スタッフとの連携によるニーズ掘り起こし等、ピアサポーター相談会実施を支援している ・ピアサポーター相談会の開催。(7月、11月、3月) ・乳がん患者会の支援 ・くつろぎサロン(患者サロン)の活動支援 ・清音会(松江赤十字病院喉摘者会)の支援 ・あゆみ会(人工肛門保有患者の患者会)の支援 ・遺伝性乳がん・卵巣がんの当事者会の協力を得て、遺伝性がんの当事者を対象にした講演会をオンラインで実施し、双方での意見交換を行った。 ・遺伝性乳がん・卵巣がんの当事者会の協力を得て、当事者が家族らにあてた手紙を紹介する写真パネル展を実施し、当事者の方への支援や社会への啓発活動を行った(松江赤十字病院) ・ほっとサロンとの連携による相談支援、ほっとサロン便り作成支援 ・ほっとサロンの新たな取組みとして、「AYA世代がん患者交流会」「小児がん経験者の親の交流会」を開催 ・がんピアサポーター相談会 開催病院：松江市立、松江赤十字、県立中央病院、島根大学病院、浜田医療センター、益田赤十字、安来第一、雲南市立、大田市立、隠岐(10病院) 開催回数：39回 相談者数：52名(45組) ・がんピアサポーターフォローアップ研修(11/17) 参加者数：ピアサポーター16名、サロン関係者3名(島根大学医学部附属病院) ・ピアサポーター相談会を計画 ・なごやかサロン実施(毎月第2、4金曜)(県立中央病院) ・がんサロン(ほっとサロン浜田、女性だけの会、サロンひまわり)の院内掲示による周知と活動支援(浜田医療センター) ・がんサロンは独自に院外に会場を設け開催されており、その開催周知のため当院で「のほり」を作成した(益田赤十字病院) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアサポーター相談会開催への支援(開催出来ず) ・患者サロン、学習会、カフェサロンはコロナ感染拡大の影響で一同を介しての開催はできなかったが、患者サロンの部屋は常にオープンにし、気軽に立ち寄れる環境とした ・がん情報ギフト連携プロジェクト「むすぶ」事業、動画への参加(松江市立病院) ・コロナ禍により中止となっているが、インターネット、ポスター掲示、院内放送等周知活動を行い、専門領域看護師、MSW等相談担当スタッフとの連携によるニーズ掘り起こし等、ピアサポーター相談会の実施に向けて準備を整えている ・乳がん患者会の支援 ・くつろぎサロン(患者サロン)の活動支援(コロナ禍のため患者の集会は休止中のため、Web開催の情報提供を実施した) ・清音会(松江赤十字病院喉摘者会)の支援 ・あゆみ会(人工肛門保有患者の患者会)の支援(松江赤十字病院) ・ほっとサロン便り作成支援 ・ほっとサロンオンライン「AYA世代がん患者交流会」 ・小児がん経験者親の会「かけはしの会」広報の支援 ・がんピアサポーター相談会は個別対応を2件実施(島根大学医学部附属病院) ・ピアサポーター相談会、なごやかサロン共に新型コロナウイルス感染症の影響で活動を中止した(県立中央病院) ・がんサロン、ピアサポーター相談会は院内では共に実施出来ず ・がんサロン(ほっとサロン浜田、サロンひまわり)は院内での開催ができない期間は独自に院外に会場を設け、開催されている。当院では、院内掲示による周知と活動支援(浜田医療センター) ・がんサロン、がんピアサポーター相談会ともに、新型コロナウイルス感染症の影響で院内開催を中止している ・がんサロン自体は独自に院外に会場を設け、感染対策に留意しながら開催されている(益田赤十字病院) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアサポーター相談会開催への支援。(開催出来ず) ・患者サロン、学習会、カフェサロンはコロナ感染拡大の影響で一同を介しての開催はできなかったが、患者サロンの部屋は常にオープンにし、気軽に立ち寄れる環境とした。 ・がん情報ギフト連携プロジェクト「むすぶ」事業、動画への参加(松江市立病院) ・乳がん患者会の支援 ・くつろぎサロン(患者サロン)の活動支援(コロナ禍のため患者の集会は休止中のため、Webで開催される他施設やAYA患者のプログラムなどの情報提供を行なった。実施した) ・清音会(松江赤十字病院喉摘者会)の支援 ・あゆみ会(人工肛門保有患者の患者会)の支援(松江赤十字病院) ・ほっとサロン便り作成支援し、院内掲示やホームページへ掲載している ・ほっとサロンオンライン「AYA世代がん患者交流会」の実施サポート ・小児がん経験者親の会「かけはしの会」広報・実施サポートをした。 ・がん治療経験者や県、がん相談員実務担当者会と連携し、今後のピアサポーター活動について検討している(島根大学医学部附属病院) ・ピアサポーター相談会、なごやかサロン共に新型コロナウイルス感染症の影響で活動を中止した(県立中央病院) ・がんサロン、ピアサポーター相談会は院内では共に院内では開催出来なかったため、院外に会場を設け、開催されている。当院では、院内掲示による周知と活動支援。(浜田医療センター) ・がんサロン、がんピアサポーター相談会ともに、新型コロナウイルス感染症の影響で院内開催は中止している。 ・がんサロン自体は独自に院外に会場を設け、感染対策に留意しながら開催されている。 がんサロンが行うイベントに参加協力している。(益田赤十字病院) ・島根県ピアサポーターの今後のあり方検討ワーキンググループを設置し、今後のピアサポーター活動について検討。(県、拠点病院)

患者家族支援

具体的施策	実施主体	重点施策	R2(2020)年度	R3(2021)年度	R4(2022)年度
<p>施策 50</p> <p>社会生活支援(就労以外)の充実</p>	<p>県、拠点病院等</p>	<p>—</p>	<ul style="list-style-type: none"> ウィッグ、補整下着補助 ウィッグ 92人 補整下着 7人(県) がんセンターの外来化学療法室での医療提供によって、日常生活を続けながらの治療を可能にすることで、QOLの向上につなげている 経済的問題に関しては、医療相談係の担当者が対応・支援している アピアランス支援については、乳がん看護認定看護師が窓口となり、がん患者全般に対応している がんセンターの外来化学療法室にはパウダールームを設置し、アピアランスへの対応が可能な設備を備えている(松江市立病院) がん治療に関連した医療費等の制度説明(一部の診療科では入院毎に相談員との面接を必須としている)や、経済的問題の相談支援、社会保障制度活用による個別支援を行っている お手入れ読本の作成 脱毛中のケア、ウィッグに関する情報提供 補整下着に関する情報提供 脱毛予防に「頭部冷却法」を乳腺科臨床試験として行った 皮膚障害に関するセルフケア支援 外来治療中の皮膚障害の患者への定期的な電話訪問 入退院支援センターでの入院前の説明・情報収集時、担当者と連携した問題の早期把握と支援を実施している 入院前の説明・情報収集時、担当者と連携した問題の早期把握 外来化学療法センター待合室でのパンフレット本、ポスターなどでの情報提供(松江赤十字病院) ウィッグや補整下着の助成制度について情報提供 乳がん看護認定看護師と連携してウィッグ購入希望者への支援を行っている 医療費や生活費等の経済的な相談をがん相談支援センターで対応し、活用できる制度などにつなげている(県立中央病院) がん専門相談員による経済的問題の相談支援やアピアランスケアについての情報提供(浜田医療センター) 各メーカーの医療用ウィッグ等のパンフレットを院内に設置している 島根県が実施している助成事業の周知、利用手続きの支援を行った(益田赤十字病院) 	<ul style="list-style-type: none"> ウィッグ、補整下着補助 ウィッグ 101人 補整下着 18人(県) がんセンターの外来化学療法室での医療提供によって、日常生活を続けながらの治療を可能にすることで、QOLの向上につなげている 経済的問題に関しては、医療相談係の担当者が対応・支援している アピアランス支援については、乳がん看護認定看護師が窓口となり、がん患者全般に対応している がんセンターの外来化学療法室にはパウダールームを設置し、アピアランスへの対応が可能な設備を備えている(松江市立病院) がん治療に関連した医療費等の制度説明や、経済的問題の相談支援、社会保障制度活用による個別支援を行っている アピアランスケアについて以下の取り組みを院内で連携して実践している 1. 脱毛中のケア、ウィッグに関する購入費補助を含めた情報提供 2. 脱毛予防の「頭部冷却法」を乳腺科臨床試験として実践 3. 乳房切除後の補整下着に関する情報提供 4. 薬剤による皮膚障害に関するスキンケアサポート 5. お手入れ読本を作成し冊子及びHPで情報提供 各診療科待合、外来化学療法センター等へのポスター掲示や各種パンフレットの設置、一階ホスピタルモールに設置している大型モニターでの動画放映によって、がん患者、家族へ情報提供を行っている 各病棟で退院支援を担当するMSWや療養支援看護師等医療チームと協力し、入院中のがん患者へ在宅医療の調整など生活支援を行なっている がん相談支援センターと既存の相談窓口「ここから相談窓口」との連携強化による相談体制の充実をはかっている(再掲指標42) 妊孕性温存療法(助成金事業も含む)に関する周知・支援のためのチーム(医師・看護師・MSW・事務)を設置し、院内への啓発を行っている(松江赤十字病院) 社会保障制度の情報提供(ウィッグ・補整下着補助助成制度も含む)の実施・アピアランスケアについて、がん専門外来や緩和ケア、外来化学療法室等の看護師と連携し情報提供を実施(島根大学医学部附属病院) ウィッグや補整下着の助成制度について適宜情報提供 医療費や生活費等の経済的な相談をがん相談支援センターで対応し、活用できる制度などにつなげている(県立中央病院) ウィッグ・補整下着の助成制度について情報提供 ウィッグ・帽子購入時のヒントの冊子を作成 各メーカーの医療用ウィッグ等のパンフレットを院内に設置 がん治療に関連した医療費等の制度説明(浜田医療センター) 各メーカーの医療用ウィッグ等のパンフレットを院内に設置している 島根県が実施している助成事業の周知、利用手続きの支援を行っている 例年がんサロンが主体となり企画していた各種イベントは、新型コロナウイルス感染症の影響で中止している(益田赤十字病院) 	<ul style="list-style-type: none"> ウィッグ、補整下着補助 ウィッグ 97人 補整下着 11人(県) がんセンターの外来化学療法室での医療提供によって、日常生活を続けながらの治療を可能にすることで、QOLの向上につなげている 経済的問題に関しては、医療相談係の担当者が対応・支援している アピアランス支援については、乳がん看護認定看護師が窓口となり、がん患者全般に対応している がんセンターの外来化学療法室にはパウダールームを設置し、アピアランスへの対応が可能な設備を備えている(松江市立病院) がん治療に関連した医療費等の制度説明や、経済的問題の相談支援、社会保障制度活用による個別支援を行っている 多職種によるアピアランスケアチームを設置し、患者支援の充実を図っている 1. 脱毛中のケア、ウィッグに関する購入費補助を含めた情報提供 2. 脱毛予防の「頭部冷却法」を乳腺科臨床試験として実践 3. 乳房切除後の補整下着に関する情報提供 4. 薬剤による皮膚障害に関するスキンケアサポート 5. お手入れ読本を作成し冊子及びHPで情報提供 各診療科待合、外来化学療法センター等へのポスター掲示や各種パンフレットの設置、一階ホスピタルモールに設置している大型モニターでの動画放映によって、がん患者、家族へ情報提供を行っている 各病棟で退院支援を担当するMSWや療養支援看護師等医療チームと協力し、入院中のがん患者へ在宅医療の調整など生活支援を行なっている がん相談支援センターと既存の相談窓口「ここから相談窓口」との連携強化による相談体制の充実をはかっている(再掲指標42) 妊孕性温存療法(助成金事業も含む)に関する周知・支援のためのチーム(医師・看護師・MSW・事務)を設置し、院内への啓発を行っている 生活のしやすさの質問票(緩和ケアスクリーニング)の質問項目に妊孕性・整容・今後の過ごし方など生活に関する項目を追加し、支援に繋げている。(松江赤十字病院) 社会保障制度の情報提供(ウィッグ・補整下着補助助成制度、妊孕性温存助成制度も含む)の実施 アピアランスケアについて、がん看護外来や緩和ケアチーム、外来化学療法室等の看護師と連携し情報提供を実施 ボランティア団体や個人の協力のもと、化学療法実施中の患者のうち希望者にタオル帽子、ニット帽をお渡しし利用していただいている(島根大学医学部附属病院) ウィッグや補整下着の助成制度について相談や情報提供 医療費や生活費等の経済的な相談をがん相談支援センターで対応し、活用できる制度などにつなげている(県立中央病院) ウィッグ・補整下着の助成制度について情報提供 ウィッグ・帽子購入時のヒントの冊子、下着選びのヒント記載の冊子を作成し、説明時に利用している 各メーカーの医療用ウィッグ等のパンフレットを院内に設置。(浜田医療センター) 予定入院患者については、入退院センターでの入院説明に合わせて情報収集をおこない、MSWに情報提供し、早期支援に努めている 患者相談窓口で介護や社会生活等々各種相談に応じている 医療用ウィッグについて各メーカーのパンフレットを院内に設置し、希望者にはメーカー担当者との仲介を行っている 島根県が実施している医療用ウィッグ等の助成事業の周知、利用手続きの支援を行っている。(益田赤十字病院)

[中間アウトカム16] 【小児・AYA】患者や家族が相談できる環境が整っている

具体的施策	実施主体	重点施策	R2(2020)年度	R3(2021)年度	R4(2022)年度
施策51 【小児・AYA】患者に必要な施策の検討・実施	県、拠点病院	重点施策	<ul style="list-style-type: none"> ・AYA世代患者については、がん看護専門看護師が中心となり、対象者への面談をし、情報提供や心理的サポートを行っている ・AYA世代交流会開催への支援（開催出来ず）〈松江市立病院〉 ・がん相談支援センターにて情報提供を行っている ・小冊子を活用した情報提供や、事例ごとに関係機関での相談を調整している〈松江赤十字病院〉 島根県小児がん対策部会への参加 島根県AYA世代のがん対策部会への参加〈島根大学医学部附属病院〉 ・がん相談支援センターで相談を受け事例ごとに対応を検討して実施〈県立中央病院〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・AYA世代患者については、がん看護専門看護師が中心となり、対象者への面談をし、情報提供や心理的サポートを行っている ・AYA世代フォーラムWEB研修、交流会への参加〈松江市立病院〉 ・パンフレット等による情報提供や、交流会の周知、運営協力をがん相談支援センター相談員が行っている〈松江赤十字病院〉 ・島根県小児がんAYA世代のがん対策部会への参加〈島根大学医学部附属病院〉 ・がん相談支援センターにて情報提供を行っている ・小冊子を活用した情報提供や事例事に多職種で連携している〈浜田医療センター〉 ・「AYA世代のがん患者 つながるフォーラム」にパネリストとして参加〈島根産業保健総合支援センター〉 ・AYA世代のがん患者 つながるフォーラム開催（2/26） ・ヘルスサイエンスセンター島根と連携し、がん対策基金を原資とした小児がん患者交通費助成事業を創設〈県〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルスサイエンスセンター島根と連携し、がん対策基金を原資とした小児がん患者交通費助成事業を実施 ・小児・AYA世代のがん患者とその家族の困りごと等を把握し、効果的な施策を検討するために、実態調査を実施〈県〉 ・AYA世代患者については、がん看護専門看護師が中心となり、対象者への面談をし、情報提供や心理的サポートを行っている ・AYA世代フォーラムWEB研修、交流会への参加〈松江市立病院〉 ・パンフレット等による情報提供や、交流会の周知、運営協力をがん相談支援センター相談員が行っている〈松江赤十字病院〉 ・高校生の学業継続のため、県や高校、教育委員会と連絡調整している。 ・AYA世代のがん患者に対し、院内多職種で構成されている子どもとAYAサポートチームが介入し診療チームとの連携を図っている ・AYAWeek2023に参加し、がん相談支援センターの動画作成をしたり、AYA世代応援フラッグの作成をし、AYA世代がん患者が相談につながるための周知活動を行った。また島根県小児AYAがん対策部会で、島根毛県民会館をライトアップし、県民への周知に努めた。〈島根大学医学部附属病院〉 小冊子を活用した情報提供や事例事に多職種で連携している。〈浜田医療センター〉
施策52 【小児・AYA】世代特有の課題へのワーキンググループの開催（患者きょうだいへの支援の検討）	県、拠点病院	重点施策	<ul style="list-style-type: none"> 子どもとAYA世代サポートセンターの設置 小冊子を活用した情報提供の実施〈島根大学医学部附属病院〉 ・事例があれば関係機関と調整する〈県立中央病院〉 ・相談体制はあるが、対象患者がいないため未実施〈益田赤十字病院〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・がん専門領域看護師とがん相談支援センター相談員による定期カンファレンス（1/月）で、AYA世代がん患者について共有し支援について検討している〈松江赤十字病院〉 ・島根県AYA世代のがん対策部会への参加小冊子を活用した情報提供の実施、「子どもとAYA世代サポートセンター」での相談支援の実施〈島根大学医学部附属病院〉 ・事例があれば院内外関係機関と協議し対応している〈県立中央病院〉 ・相談体制はあるが、対象患者がいないため未実施である〈益田赤十字病院〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・がん専門領域看護師とがん相談支援センター相談員による定期カンファレンス（1/月）で、AYA世代がん患者について共有し支援について検討している〈松江赤十字病院〉 ・島根県小児がんAYA世代のがん対策部会への参加し、高校教育の支援について検討している。 ・AYA世代のがん患者に対し、子どもとAYAサポートセンターの多職種による面接を実施し、必要に応じて多職種によるカンファレンスを実施している。〈島根大学医学部附属病院〉 ・事例があれば院内外専門職と協議し対応している〈県立中央病院〉 ・事例があれば関係機関と連携するが、未実施。〈浜田医療センター〉 ・相談体制はあるが、対象患者がいないため未実施である。〈益田赤十字病院〉

[中間アウトカム17] 【小児・AYA】医療機関や相談支援センターが患者やその家族の不安や悩みに対応できている

具体的施策	実施主体	重点施策	R2(2020)年度	R3(2021)年度	R4(2022)年度
施策53 【小児・AYA】家族の付き添い支援の実施	島根大学医学部附属病院	—	<ul style="list-style-type: none"> ・入院児童等家族宿泊施設「だんだんハウス」の運営〈島根大学医学部附属病院〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・入院児童等家族宿泊施設「だんだんハウス」の運営〈島根大学医学部附属病院〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・入院児童等家族宿泊施設「だんだんハウス」の運営〈島根大学医学部附属病院〉
施策54 【小児・AYA】世代特有の課題へのワーキンググループの開催（生殖機能の温存等に関する施策の実施を検討）	県	—	<ul style="list-style-type: none"> ・小児・AYA世代のがん対策部会（2/8） ・島根県がん・生殖医療ネットワーク構築及び妊孕性温存療法助成事業について、島根大学産科婦人科等の関係者等と協議 ・島根県小児・AYA世代のがん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業実施要綱の検討〈県〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・小児・AYA世代のがん対策部会開催（12/13） ・島根県がん・生殖医療ネットワーク会議参加（5/24、6/28、2/7） ・AYA世代のがん患者 つながるフォーラム開催（2/26）〈県〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・小児・AYA世代のがん対策部会開催（11/14） ・島根県がん・生殖医療ネットワーク会議参加（5/16、9/15、1/20）〈県〉
施策55 【新規】（再掲：施策33）【小児・AYA】生殖機能の温存等に関する施策の実施	県、拠点病院等	重点施策	（再掲：施策33）	（再掲：施策33）	（再掲：施策33）

[中間アウトカム18] 【小児・AYA】患者が療養生活において保育・教育を受けられる環境が整備されている

具体的施策	実施主体	重点施策	R2(2020)年度	R3(2021)年度	R4(2022)年度
施策56 【AYA】世代特有の課題へのワーキンググループの開催（療養中の保育や高等教育のあり方の検討）	県	—	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生がん患者の教育支援検討会（9/16）で、入院中の高校生がん患者に対する遠隔授業実施の支援フローを検討、作成 ・小児・AYA世代のがん対策部会や、教育委員会担当者より特別支援教育コーディネーター会で支援周知〈県〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・小児・AYA世代のがん対策部会や、特別支援教育コーディネーター会において、遠隔授業の支援体制について、教育委員会担当者より周知〈県〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・小児・AYA世代のがん対策部会や、特別支援教育コーディネーター会において、遠隔授業の支援体制について、教育委員会担当者より周知 ・大学、教育委員会担当者、がん対策推進室で高校生がん患者の教育支援について検討〈県〉

患者家族支援

[中間アウトカム19] 【働き盛り】患者が療養生活と仕事を両立できている

具体的施策	実施主体	重点施策	R2(2020)年度	R3(2021)年度	R4(2022)年度
<p>施策57 就労支援相談会等の開催（がん患者への両立支援を推進）</p>	<p>県、拠点病院等、ハローワーク、産業保健総合支援センター等</p>	<p>—</p>	<p>島根県産業保健総合支援センターとの連携のもと、両立支援の相談窓口を開設し対応している（毎月第1水曜） ・ホームページ・がん相談支援センターのパンフレットへの掲載、院内へのポスター掲示や電子掲示板での掲示で周知に努めている 相談者数：4名 ・長期療養者についての就労支援も行っている（松江市立病院）</p> <p>・就労支援ナビゲーター（ハローワーク）との連携による就労相談会（毎月第3火曜日）・両立支援促進員（産業保健総合支援センター）による就労相談会（毎月第4水曜日）の開催とともに、インターネット・院内掲示・放送による周知、MSWや専門領域看護師の連携による潜在的ニーズの掘り起こしを行っている ・入院・外来でのつらさのスクリーニングで仕事・経済面の不安をもつ患者が相談希望を申し出ることができる体制を整備している ・入院の事前説明時に、就労中のがん患者に対し、両立支援の情報提供を積極的に行っている（松江赤十字病院）</p> <p>・ハローワーク出雲就職支援ナビゲーターとの連携による相談会開催 （毎週木曜日10：00～12：00）がん患者利用者数：18名 ・島根県産業保健総合支援センター両立支援促進員による就労相談会 （毎月第4木曜日13：00～16：00）がん患者利用者数：6名 ・院内モニター、ポスター掲示、リーフレットによる周知・啓発（島根大学医学部附属病院）</p>	<p>島根県産業保健総合支援センターとの連携のもと、両立支援の相談窓口を開設し対応している（毎月第1水曜：8件相談あり） ・ホームページ・がん相談支援センターのパンフレットへの掲載、院内へのポスター掲示や電子掲示板での掲示で周知に努めている ・長期療養者についての就労支援も行っている（松江市立病院）</p> <p>・就労支援ナビゲーター（ハローワーク）との連携による就労相談会（毎月第3火曜日）・両立支援促進員（産業保健総合支援センター）による就労相談会（毎月第4水曜日）の開催とともに、インターネット・院内掲示・放送による周知、MSWや専門領域看護師の連携による潜在的ニーズの掘り起こしを行っている ・各診療科の医師・看護師との連携や苦痛のスクリーニング結果、入院支援システムを活用したがん相談支援センターの「先回り支援」体制を整備し、治療と就労の両立支援に努めた（松江赤十字病院）</p> <p>・ハローワーク出雲就職支援ナビゲーターとの連携による相談会開催 （毎週木曜日10：00～12：00）がん患者利用者数：11名 ・島根県産業保健総合支援センター両立支援促進員による就労相談会 （不定期）がん患者利用者数：3名 ・院内モニター、ポスター掲示、リーフレットによる周知・啓発（島根大学医学部附属病院）</p>	<p>・島根県産業保健総合支援センターとの連携のもと、両立支援の相談窓口を開設し対応している（毎月第1水曜：8件相談あり） ・ホームページ・がん相談支援センターのパンフレットへの掲載、院内へのポスター掲示や電子掲示板での掲示で周知に努めている ・長期療養者についての就労支援も行っている（松江市立病院）</p> <p>・就労支援ナビゲーター（ハローワーク）との連携による就労相談会（毎月第3火曜日）・両立支援促進員（産業保健総合支援センター）による就労相談会（毎月第4水曜日）の開催とともに、インターネット・院内掲示・放送による周知、MSWや専門領域看護師の連携による潜在的ニーズの掘り起こしを行っている ・各診療科の医師・看護師との連携や苦痛のスクリーニング結果、入院支援システムを活用したがん相談支援センターの「先回り支援」体制を整備し、治療と就労の両立支援に努めた（松江赤十字病院）</p> <p>・ハローワーク出雲就職支援ナビゲーターとの連携による相談会実施（毎週木曜日10：00～12：00） ・島根県産業保健総合支援センター両立支援促進員による就労相談会実施 ・市民公開講座において島根県立中央病院との共催で就労支援をテーマにした動画を作成し、ケーブルテレビで配信した ・院内モニター、ポスター掲示、リーフレットによる周知の実施（島根大学医学部附属病院）</p>

患者家族支援

具体的施策	実施主体	重点施策	R2(2020)年度	R3(2021)年度	R4(2022)年度
施策57 就労支援相談会等の開催（がん患者への両立支援を推進）	県、拠点病院等、ハローワーク、産業保健総合支援センター等	-	<ul style="list-style-type: none"> ・ハローワーク出雲の就労支援ナビゲーターと連携して出張相談会の開催（毎月第1、3水曜） ・産業保健総合支援センター両立支援出張相談会の開催（毎月第2水曜） ・がん相談員による就労相談は随時対応している（県立中央病院） ・産業保健総合支援センター両立支援出張相談会の開催（9/16、1/19）（浜田医療センター） ・一昨年から産業保健総合支援センターと連携し、がん患者の治療と仕事の両立支援のための出張相談会を院内で随時開催してきたが、R2年度は産業保健総合支援センターと当院とをつなぎオンライン開催とした（2回開催、申込者0名、2回目は圏域でのコロナ患者発生により中止） ・島根労働局が主催する両立支援チームと、産業保健総合支援センターが開催する相談窓口担当者会議にMSWがオンライン参加した（R2年度：チーム会、担当者会、各1回開催）（益田赤十字病院） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハローワーク出雲の就労支援ナビゲーターと連携して出張相談会開催（毎月第1、3水曜） ・産業保健総合支援センター両立支援出張相談会の開催（毎月第2水曜） ・がん相談員による就労相談は随時対応している（県立中央病院） ・産業保健総合支援センター両立支援出張相談会（オンライン）の開催（4回） ・がん専門相談員による就労相談は随時対応（浜田医療センター） ・島根産業保健総合支援センターと連携し、がん患者の治療と仕事の両立支援のための出張相談会を院内で随時開催することとしているが、実際には利用者がおらず開催に至っていない ・島根労働局が主催する両立支援チームと、島根産業保健総合支援センターが開催する相談窓口担当者会議が開催されたが、集合形式での開催であったため当院からは参加していない（益田赤十字病院） ・がん診療連携拠点病院等6病院にて開設する治療と仕事の両立支援出張相談窓口での相談件数は19件 ・出張相談窓口担当者会議を開催し、がん診療連携拠点病院における両立支援院内体制について検討を行った ・島根労働局労働基準部健康安全課及び職業安定部職業安定課と、ハローワーク長期療養者就職支援事業と治療と仕事の両立支援との連携（相互紹介等）について具体的に協議した ・島根県がん診療ネットワーク協議会にオブザーバー参加した ・島根県糖尿病療養指導士認定機構、島根県作業療法士会、島根県理学療法士会、島根県医療ソーシャルワーカー協会、それぞれの研修会において両立支援をテーマとした講義を行った ・2医療機関において、コロナ対策を講じた上、両立支援院内研修を実施した ・島根県内の両立支援コーディネーターを対象に、両立支援コーディネーター交流会を開催し、事例検討を行った（島根産業保健総合支援センター） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハローワーク出雲の就労支援ナビゲーターと連携して出張相談会開催（毎月第1、3水曜） ・産業保健総合支援センター両立支援出張相談会の開催（毎月第2水曜） ・がん相談員による就労相談は随時対応している ・仕事をしているがん患者に仕事に関する心配ごと等がないか声掛けをするようにしている（県立中央病院） ・島根県産業保健総合支援センター両立支援促進員によるオンライン就労相談会4回/年 ・院内ポスター掲示、リーフレットによる周知・啓発 ・がん専門相談員による就労相談は随時対応（浜田医療センター） ・島根労働局が主催する両立支援チーム会議にオンラインで参加した ・就労支援に関する相談会は随時開催としているが、希望者がおらず開催には至っていない。（益田赤十字病院） ・がん診療連携拠点病院等6病院にて開設する治療と仕事の両立支援出張相談窓口での相談件数は18件 ・島根労働局職業安定部職業安定課の協力のもと、就労支援に係る相互紹介へ対応する県内のハローワーク側の担当者を明確にした。そのうちハローワーク出雲においては、月2回（第2第4水曜）両立支援定期相談会を立ち上げ、長期療養者就職支援事業担当者情報交換しながら、当センター委嘱の両立支援促進員による相談会を開催している。相談支援件数は15件。 ・院内研修を計3回（集合1回、オンライン2回）開催した。 ・拠点病院が開催する市民公開講座およびミニパネル展等にスライドを提供する等の協力をおこなった。 ・両立支援コーディネーター及び両立支援関係者に対する事例検討会を計3回（集合1回、オンライン2回）開催した。（島根産業保健総合支援センター）

患者家族支援

具体的施策	実施主体	重点施策	R2(2020)年度	R3(2021)年度	R4(2022)年度
施策58 就労支援相談会等の開催（事業所への両立支援を推進）	県、拠点病院等、島根労働局、産業保健総合支援センター等	—	<ul style="list-style-type: none"> ・しまね☆まめなカンパニー登録制度 登録数：210事業所（R3.3末）〈県〉 ・がん相談支援センターにて情報提供を行っている ・両立支援促進員による就労相談会に事業主にも参加を得て事業主と連携し、治療と仕事の両立に関する支援を行った〈松江赤十字病院〉 島根県地域両立支援推進チーム会議への参加〈島根大学医学部附属病院〉 ・個々のケースで患者の希望があれば事業場に対して治療経過や仕事の上での制限の有無等について情報提供を行い、今後の連携について働きかけている〈県立中央病院〉 ・厚生労働省の作成したリーフレットを設置し周知を行ったが、手に取り持ち帰られたのは僅かである〈益田赤十字病院〉 ・島根県地域両立支援推進チームの活動を通じ、「事業場における治療と仕事の両立支援のためのガイドライン」及び企業と医療機関の連携のためのマニュアルの周知を行うとともに、治療と仕事の両立支援に係る相談窓口等の周知、利用動向を行った ・労働局及び労働基準監督署が行う事業場に対する安全衛生指導等の際に、産保センターのリーフレットを配布し、両立支援対策の必要性の説明とセンターの利用動向を行った。また、その際に、事業場における両立支援の実態把握も行った ・労働局において設置している安全衛生労使専門家会議において、企業での治療と仕事の両立支援の取組報告をしていたが、両立支援について協議した〈島根労働局〉 ・1月に浜田医療センター及び益田赤十字病院において、オンラインによる両立支援に関する「オンライン相談会」を開催した。今後、令和3年度からは浜田市にて半期に1回、益田市においては年1回開催することとなった ・県内2か所のがんサロンにおいて、両立支援の啓発セミナーを実施し、うち1か所では、新聞社と地元ケーブルテレビの取材を受けた ・島根県経営者協会の協力を得て、同協会の各支部で開催された協議会において、両立支援制度の周知を行った ・松江東ロータリークラブ、松江ロータリークラブにて事業者向けに両立支援の周知を行い、好評を得た ・治療と仕事の両立支援の出張相談窓口を開設する病院の担当者や両立支援促進員による会議を開催。労災病院勤務のソーシャルワーカーの事例発表や検討会等により、出席した各担当者の意識向上が図られ、実績にもつながった〈島根産業保健総合支援センター〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・しまね☆まめなカンパニー登録制度 登録数：268事業所（R4.3末）〈県〉 ・がん相談支援センターにて情報提供を行っている ・産業保健総合支援センターの依頼により、事業所の（治療と仕事の両立に関する）福利厚生整備にがん相談支援センター相談員が協力した ・就労相談会に事業主が参加し、治療と仕事の両立に関する支援を連携して行った〈松江赤十字病院〉 ・島根県地域両立支援推進チーム会議への参加 ・両立支援コーディネーター交流会への参加〈島根大学医学部附属病院〉 ・個々のケースで患者の希望があれば事業場に対して治療経過や仕事の上での制限の有無等について情報提供を行い、今後の連携について働きかけている〈県立中央病院〉 ・厚生労働省の作成したリーフレットを設置し周知を行った〈益田赤十字病院〉 ・島根県地域両立支援推進チームの活動を通じ、「事業場における治療と仕事の両立支援のためのガイドライン」及び企業と医療機関の連携のためのマニュアルの周知を行うとともに、治療と仕事の両立支援に係る相談窓口等の周知、利用動向を行った ・労働局及び労働基準監督署が行う事業場に対する安全衛生指導等の際に、産保センターのリーフレットを配布し、両立支援対策の必要性の説明とセンターの利用動向を行った。また、その際に、事業場における両立支援の実態把握も行った ・産保センターと共催し、事業者、産業医、両立支援推進チーム構成機関等両立支援に係る者を対象とした研修会を、県内4会場で開催した〈島根労働局〉 ・89事業場を訪問し、治療と仕事の両立支援の周知啓発を行った ・島根労働局と合同で県内4か所（松江、出雲、浜田、益田）において、事業者担当者及び産業医を対象とした治療と仕事の両立支援研修会を開催した ・島根県内の両立支援コーディネーターを対象に、両立支援コーディネーター交流会を開催し、事例検討を行った〈島根産業保健総合支援センター〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・しまね☆まめなカンパニー登録制度 登録数：319事業所（R5.3末）〈県〉 ・がん相談支援センターにて情報提供を行っている ・厚生労働省労働局主催の両立支援のオンライン地域セミナーにおいて、当院の先回り支援について報告した。〈松江赤十字病院〉 ・両立支援コーディネーター交流会への参加 ・院内パネル展でさんぽセンターの活動紹介 ・島根県地域両立支援推進チーム会議への参加〈島根大学医学部附属病院〉 ・個々のケースで患者の希望があれば事業場に対して治療経過や仕事の上での制限の有無等について情報提供を行い、今後の連携について働きかけている〈県立中央病院〉 ・島根県地域両立支援推進チームの活動を通じ、「事業場における治療と仕事の両立支援のためのガイドライン」及び企業と医療機関の連携のためのマニュアルの周知を行うとともに、治療と仕事の両立支援に係る相談窓口等の周知、利用動向を行った ・労働局及び労働基準監督署が行う事業場に対する安全衛生指導等の際に、産保センターのリーフレットを配布し、両立支援対策の必要性の説明とセンターの利用動向を行った。また、その際に、事業場における両立支援の実態把握も行った ・各団体等が実施する研修会等において、両立支援について説明した ・産保センターと共同で、県下ハローワークとの連携について打ち合わせを実施した〈島根労働局〉 ・事業場訪問による支援（個別訪問支援）は20件。 ・加茂島根ライオンズクラブにおいて事業主に対する両立支援研修会を開催した。 ・島根労働局及び島根労働基準協会の協力により治療と仕事の両立支援に関する寸劇を松江・出雲・浜田・益田の労働衛生週刊説明会の中で上演した。また同じ内容の寸劇を、隠岐保健所の協力により隠岐圏域事業主セミナーにおいて上演した。 ・ほっとサロン益田における「治療と仕事の両立支援」の周知に関して資料を提供した。 ・きんさんテレビ（石見銀山テレビ放送株式会社）におけるCM放送を依頼し、令和4年11月から令和5年3月末日まで、月に5日程度放送された。〈島根産業保健総合支援センター〉 ・出張相談窓口のポスターを作成し、各外来、病棟、化学療法室に掲示し周知した。 ・出張相談窓口のポスター以外に、院内担当相談員の紹介ポスターを作成し、主張窓口以外でも相談可能であることを患者・家族、院内スタッフに周知した。〈浜田医療センター〉
施策59 復職支援モデル事業の実施	県、ハローワーク	重点施策			
施策60 （再掲：施策4）事業所と連携した情報提供を実施する	県	—	（再掲：施策4）	（再掲：施策4）	（再掲：施策4）

患者家族支援

【中間アウトカム20】【働き盛り】患者の子供等の悩みが軽減できている

具体的施策	実施主体	重点施策	R2(2020)年度	R3(2021)年度	R4(2022)年度
施策61 がん患者を親に持つ子ども等に対する必要な支援の検討	県、拠点病院	—	<ul style="list-style-type: none"> 子どもへの支援が必要となった場合は、関連する機関（学校・保健所）と連携し、対応している（松江市立病院） 事例があれば関係機関と調整し、対応する。（松江赤十字病院） 事例があれば関係機関と調整する（県立中央病院） 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもへの支援が必要となった場合は、関連する機関（学校・保健所）と連携し、対応している（松江市立病院） がん専門領域看護師とがん相談支援センター相談員による定期カンファレンス（1/月）で、子育て世代のがん患者について共有し、患者及びその家族に対する支援について検討している（松江赤十字病院） 「子どもとAYA世代サポートセンター」での対応 事例によっては関係機関（市役所・保健所）等と連携し対応している がんの親を持つ子ども達へ支援としてCLIMBプログラムを開催（島根大学医学部附属病院） 事例があれば関係機関と連携し対応している（県立中央病院） 母子家庭の患者の子に対し、進学準備の支援や、子自身が抱える持病のフォローなど行政に介入を依頼、連携してサポートを行った 今後も必要な介入事例があれば、行政と連携して介入していく（浜田医療センター） 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもへの支援が必要となった場合は、関連する機関（学校・保健所）と連携し、対応している（松江市立病院） がん専門領域看護師とがん相談支援センター相談員による定期カンファレンス（1/月）で、子育て世代のがん患者について共有し、患者及びその家族に対する支援について検討している（松江赤十字病院） 事例があれば関係機関と連携し対応している（県立中央病院） 事例があれば関係機関と連携し対応する。（浜田医療センター） ケースがあれば、学校や児童相談所等関係機関と連携し支援にあたっている。（益田赤十字病院） 「子どもとAYA世代サポートセンター」の多職種で相談支援を実施している。 がんの親を持つ子ども達へ支援としてCLIMBプログラムを開催（島根大学医学部附属病院）

【中間アウトカム21】【高齢者】意思決定支援が可能となるための方策の検討

具体的施策	実施主体	重点施策	R2(2020)年度	R3(2021)年度	R4(2022)年度
施策62 がん患者及びその家族に対する必要な支援の実施	県、拠点病院等	—	<ul style="list-style-type: none"> 認知症ケアチームや緩和ケアチーム、精神科リエゾンチーム、栄養サポートチーム等の医療チームと病棟メンバー・院内外の関連部署・関連する多職種間での連携をし、対応している（松江市立病院） 認知症を合併したがん患者の治療に対して、認知症ケアチーム、精神科リエゾンチーム、栄養サポートチーム、緩和ケアチーム、老人看護専門看護師、認知症対応向上研修を修了した看護師、MSW等が介入し、必要な支援を行う 認知症ケア委員会を設置し、必要な検討を行う（松江赤十字病院） がん患者・家族サポートセンターと認知症疾患医療センターで連携し、お互いに情報共有し、患者相談・支援にあたっている また、院内の周術期管理チームにおいてはがん疾患の担当医師、精神科医師や、看護師、歯科医師、歯科衛生士、MSW等他職種が関わり、必要な検討を行っている（島根大学医学部附属病院） 入院患者に対して認知症ケアチームが適宜介入している 認知症の有無に関わらず患者の意思決定を尊重し、家族や関係者も含めた方針決定を心がけている（県立中央病院） がん相談の場に限らず、あらゆる相談援助の場において認知症についても配慮して相談対応している（益田赤十字病院） 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症ケアチームや緩和ケアチーム、精神科リエゾンチーム、栄養サポートチーム等の医療チームと病棟メンバー・院内外の関連部署・関連する多職種間での連携をし、対応している（松江市立病院） 高齢者や認知症を合併する患者の治療や療養の意思決定支援には、診療科と連携して、認知症ケアチーム、精神科リエゾンチーム、栄養サポートチーム、緩和ケアチーム、老人看護専門看護師や認知症対応向上研修を修了した看護師、MSW等が介入して支援を行なっている 高齢者の治療選択に際しては、がん相談支援センターが活用して適応を検討し、がん関連の認定・専門看護師が同席して意思決定支援を実施している 認知症ケア委員会を設置するとともに、定期的なラウンドを実施、現場スタッフの意思決定支援のサポートを行なっている <在宅患者・家族> 各診療科医師・看護師等外来スタッフからがん相談支援センター・がん専門領域看護師に支援が必要と思われる患者・家族に関する情報を集約し、院内の専門チームや院外の関係機関（開業医、ケアマネ、訪問看護等）連携し意思決定支援を行なっている <入院患者・家族> 入退院支援システムによる要支援患者の早期把握、及び在宅スタッフとの情報共有（ケアマネ：基本情報、訪問看護ステーション：看護情報）により、入院早期から介入し、療養支援、認知症ケア等の医療チームと連携して総合的な意思決定支援を行なっている（松江赤十字病院） がん患者・家族サポートセンターと認知症疾患医療センターで連携し、お互いに情報共有し、患者相談・支援にあたっている 院内の周術期管理チームにおいてはがん疾患の担当医師だけでなく、精神科医師や、麻酔科医師、歯科医師、看護師、MSW等多職種が関わり、必要な検討を行っている（島根大学医学部附属病院） 入院患者に対して必要時認知症ケアチームが適宜介入している 認知症の有無に関わらず患者の意思決定を尊重し、家族や関係者も含めた方針決定を心がけている（県立中央病院） 認知症の有無に関わらず、患者の意思決定を尊重し、対応している。（浜田医療センター） 入院患者に対して認知症ケアチームが適宜介入しており、がん患者に限らずあらゆる相談援助において、認知症についても配慮し相談対応している。（益田赤十字病院） 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症ケアチームや緩和ケアチーム、精神科リエゾンチーム、栄養サポートチーム等の医療チームと病棟メンバー・院内外の関連部署・関連する多職種間での連携をし、対応している（松江市立病院） 高齢者や認知症を合併する患者の治療や療養の意思決定支援には、診療科と連携して、認知症ケアチーム、精神科リエゾンチーム、栄養サポートチーム、緩和ケアチーム、老人看護専門看護師や認知症対応向上研修を修了した看護師、MSW等が介入して支援を行なっている 高齢者の治療選択に際しては、がん相談支援センターが活用して適応を検討し、がん関連の認定・専門看護師が同席して意思決定支援を実施している 認知症ケア委員会を設置するとともに、定期的なラウンドを実施、現場スタッフの意思決定支援のサポートを行なっている <在宅患者・家族> 各診療科医師・看護師等外来スタッフからがん相談支援センター・がん専門領域看護師に支援が必要と思われる患者・家族に関する情報を集約し、院内の専門チームや院外の関係機関（開業医、ケアマネ、訪問看護等）連携し意思決定支援を行なっている <入院患者・家族> 入退院支援システムによる要支援患者の早期把握、及び在宅スタッフとの情報共有（ケアマネ：基本情報、訪問看護ステーション：看護情報）により、入院早期から介入し、療養支援、認知症ケア等の医療チームと連携して総合的な意思決定支援を行なっている（松江赤十字病院） 高齢者や認知症を合併する患者の治療や療養の意思決定支援には、本人の状況に応じて、診療科だけでなく、緩和ケアチーム、精神科リエゾンチーム、認知症疾患センターなど院内チームや、院外関連機関職種等と連携し、患者相談・支援にあたっている 高齢者ががん患者の治療選択は高齢者機能評価を活用 がん相談支援センターが活用し、がん相談支援センタースタッフでカンファレンスを行っている。（県立中央病院） 緩和ケアチームや病棟・外来など関連する多職種で連携し、対応している。（浜田医療センター） がん患者に限らず、相談継続の必要性の高い患者にはMSWが適宜介入し、地域包括支援センターやケアマネジャー等と連携し支援を行っている。 入院患者に対して認知症ケアチームが適宜介入しており、認知症に配慮した相談対応をおこなっている。（益田赤十字病院）

患者家族支援

(2) がんを正しく理解し、がんに向き合うためのがん教育 (がん教育)

[最終アウトカム6] 県民が自分や身近な人ががんに罹患していてもそれを正しく理解し向き合っている

【ア 子どもへのがん教育】

[中間アウトカム22] 県民ががんについて正しく理解している

[中間アウトカム23] 県民が健康や命の大切さについて理解している

具体的施策	実施主体	重点施策	R2(2020)年度	R3(2021)年度	R4(2022)年度
施策63 子どもへのがん教育の円滑な実施	学校	重点施策	○がん教育の実施率 (R2健康教育に関する状況調査票より) 【公立】 ・小学校106校 (53.3%) ・中学校74校 (79.6%) ・高等学校27校 (75.0%) 【私立】 ・中学校 3校 ・高等学校 7校	○がん教育の実施率 (R3健康教育に関する状況調査票より) 【公立】 ・小学校110校 (55.8%) ・中学校76校 (83.5%) ・高等学校24校 (68.6%) ・特別支援学校6校 (35.3%) 【私立】 ・中学校 3校 ・高等学校 6校	○がん教育の実施率 (R4健康教育に関する状況調査票より) 【公立】 ・小学校114校 (57.9%) * 中学校、高等学校は、新学習指導要領の完全実施により、保健体育科目で実施することになった。 <保健体育科目以外でのがん教育の実施率> ・中学校20校 (21.7%) ・高等学校7校 (19.4%) ・特別支援学校1校 (5.8%) 【私立】 ・中学校 3校 ・高等学校 9校
施策64 校内研修の実施	学校	—	○がん教育に関する校内研修の実施率 (R2健康教育に関する状況調査票より) 【公立】 ・小学校9校 (4.5%) ・中学校7校 (7.5%) ・高等学校0校 (0%) 【私立】 ・中学校 0校 ・高等学校 0校	○がん教育に関する校内研修の実施率 (R3健康教育に関する状況調査票より) 【公立】 ・小学校9校 (4.6%) ・中学校8校 (8.8%) ・高等学校0校 (0%) ・特別支援学校0校 (0%) 【私立】 ・中学校 0校 ・高等学校 0校	○がん教育に関する校内研修の実施率 (R4健康教育に関する状況調査票より) 【公立】 ・小学校12校 (6.1%) ・中学校10校 (10.9%) ・高等学校2校 (5.5%) ・特別支援学校0校 (0%) 【私立】 ・中学校 0校 ・高等学校 0校
施策65 外部講師の養成	県	—	・がん教育外部講師フォローアップ研修 (12/3) ※教育庁保健体育課主催がん教育研修会と共催 講師：聖心女子大学 現代教養学部教育学科教授・副学長 植田誠治氏 参加者数：35名 (県)	※コロナで中止…がん教育外部講師養成研修 (県)	※コロナで中止…がん教育外部講師養成研修 (県)

【イ 大人へのがん教育】

[中間アウトカム22] 県民ががんについて正しく理解している

[中間アウトカム23] 県民が健康や命の大切さについて理解している

具体的施策	実施主体	重点施策	R2(2020)年度	R3(2021)年度	R4(2022)年度
施策66 子どもへのがん教育を通じて大人への正しいがん情報の提供	県	—	○がん教育の公開実施率 (R2健康教育に関する状況調査票より) (公開実施とは、授業公開、講演会、便り、HPブログ) 【公立】 ・小学校10校 (9.4%) ・中学校4校 (5.4%) ・高等学校3校 (11.1%)	○がん教育の保護者への公開実施率 (R3健康教育に関する状況調査票より) * 公開実施とは、授業公開、講演会、便り、HPブログ 【公立】 ・小学校2校 (1.8%) ・中学校3校 (3.9%) ・高等学校2校 (8.3%) ・特別支援学校0校 (0%) コロナ禍で保護者への公開行事を減らした影響がある	○がん教育の保護者への公開実施率 (R4健康教育に関する状況調査票より) * 公開実施とは、授業公開、講演会、便り、HPブログ 【公立】 ・小学校13校 (6.6%) ・中学校16校 (17.4%) ・高等学校4校 (11.1%) ・特別支援学校1校 (5.9%)
施策67 わかりやすく確実に伝わる情報提供の実施 (ホームページ、SNS、広報等)	県	重点施策	・県ホームページで情報発信を行った (県)	・県ホームページで情報発信を行った (県)	・県ホームページで情報発信を行った (県)
施策68 わかりやすく確実に伝わる情報提供の実施 (SNSは双方向の情報発信が可能である特性を活かし、県民からの反応に対して、必要な対応を行う)	県	重点施策	—	—	—
施策69 関係者と連携した情報提供の実施	県、がん検診啓発サポーター、島根県立大学、各種団体等	—	・がん検診啓発サポーターが地域の健康講座や催事などで啓発及び情報発信を行った ・「しまね☆まめなカンパニー」について県のホームページに掲載した (県)	・がん検診啓発サポーターが地域の健康講座や催事などで啓発及び情報発信を行った ・「しまね☆まめなカンパニー」について県のホームページに掲載した (県)	・がん検診啓発サポーターが地域の健康講座や催事などで啓発及び情報発信を行った ・「しまね☆まめなカンパニー」について県のホームページに掲載した (県)
施策70 (再掲：施策4) 事業所と連携した情報提供を実施する	県	—	(再掲：施策4)	(再掲：施策4)	(再掲：施策4)

がん教育